

FIRST LINES
OF
ENGLISH GRAMMAR
TRANSLATED
INTO
JAPANESE

解詳法文

日本
大東館
蔵版

ブル
ン
氏
英
文
釋
義

米國
ゴ
ールド
ブ
ラ
ウ
ン
原
著
日本
澤
田
重
遠
義
譯

PRINTED AT THE DAITOKUWAN
TOKIO & OSAKA

083214-000-8

特27-101

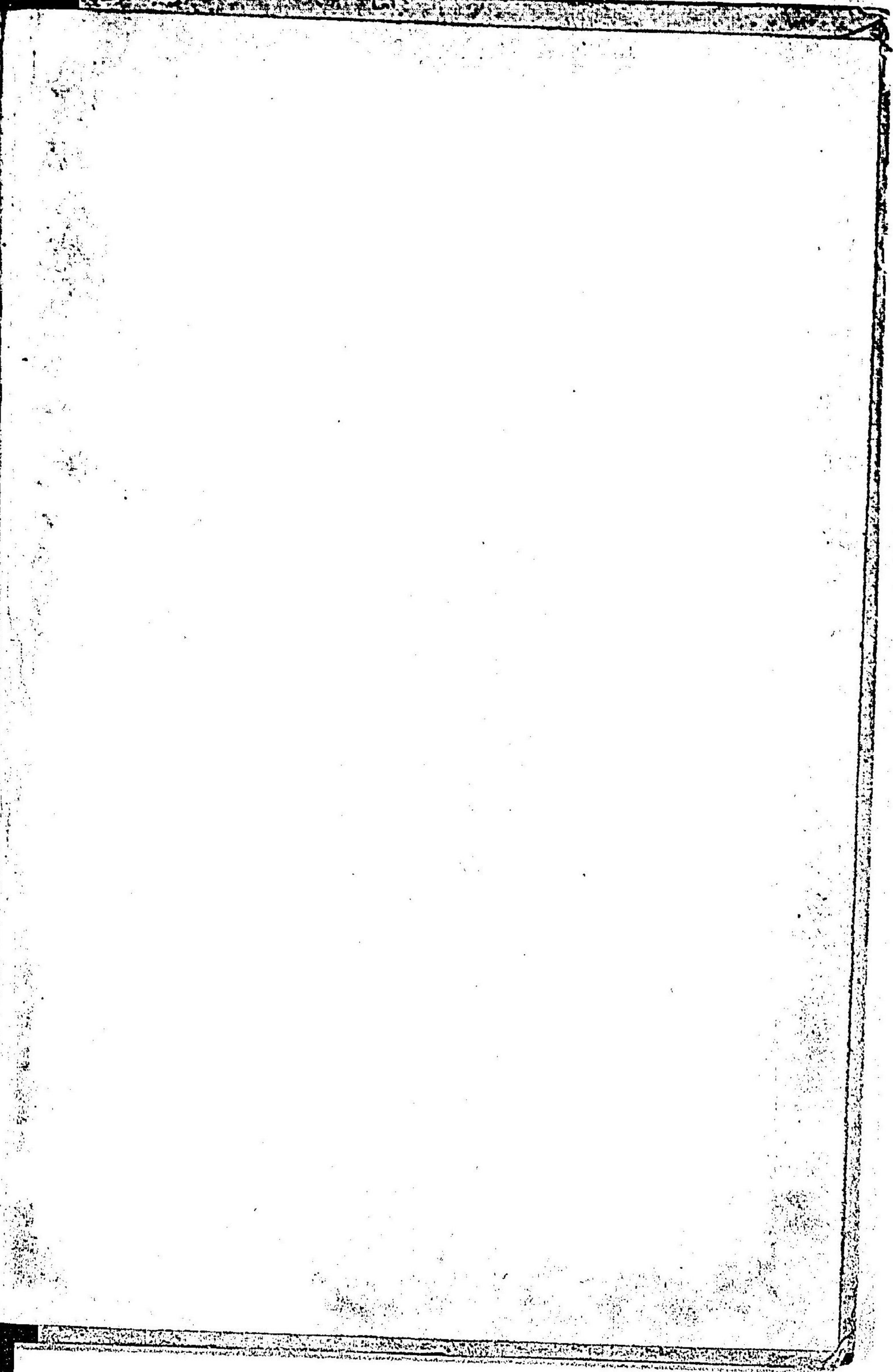
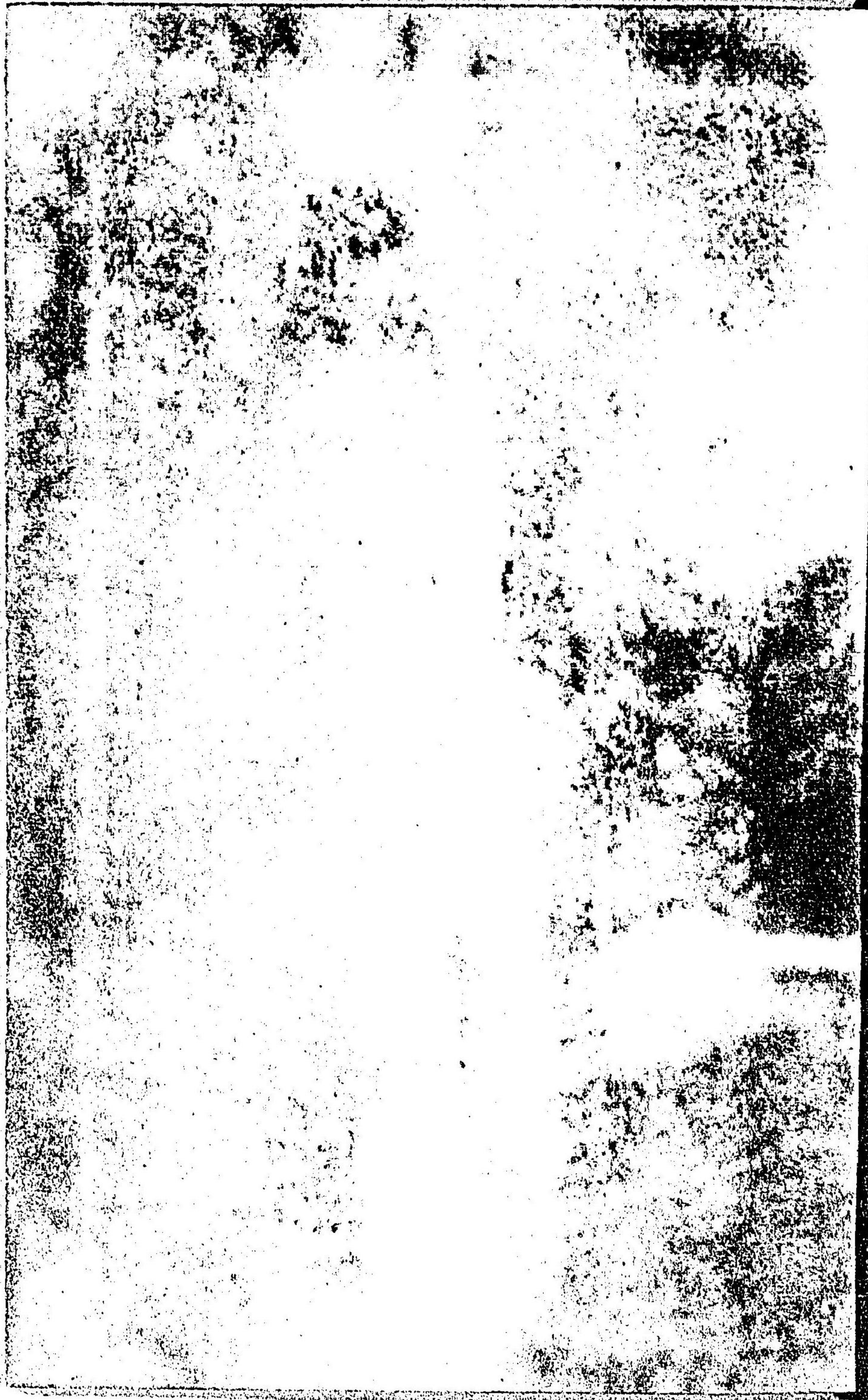
英文典釈義

ゴールド・ブラウン／著

M19

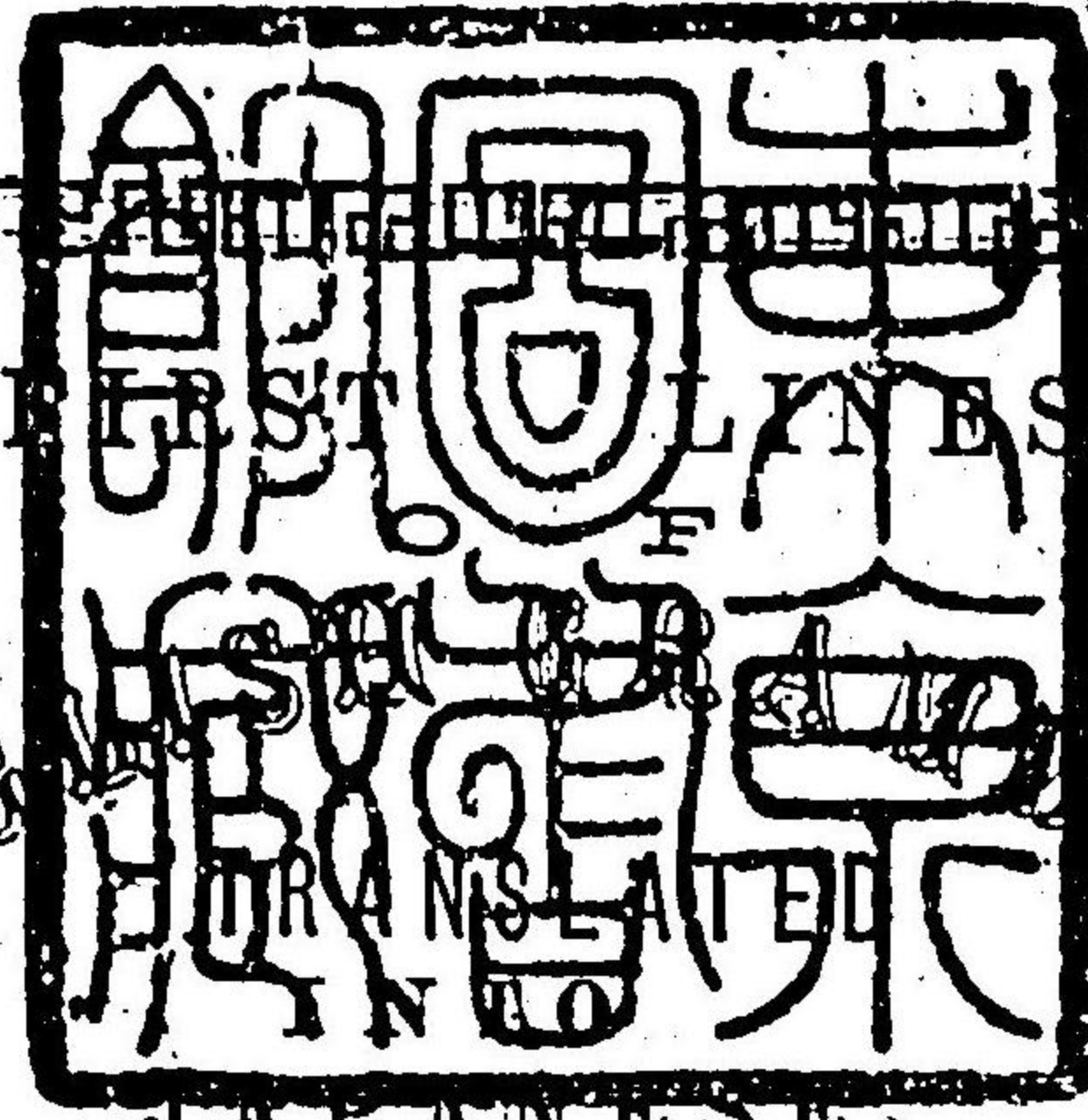
DAH-0702





特27

101



文法詳解

日本 大東館藏版

ブルーム ニ氏 英文釋義

日本澤田重遠義譯

米國ブルーム原著

PRINTED AT THE DAITOKUWAN
TOKIO & OSAKA

明治十九年十二月二日

凡例

一 此書原本其直譯ニ係テ出版セルモノ其類既ニ二三ニ及
フト聞ク蓋シ直譯ハ迂遠難讀ニシテ再ヒ釋解ヲ經ザレ
ハ之ガ意義ニ達スル能ハザルモノ常ナリ今此不便ヲ避
ケン爲メ本編ハ原文ノ意ヲ取テ之ヲ普通文ニ義譯シタ
ルモノナレハ一目以テ意義ノ存スル所ニ達シ得ベシ然
ラハ即チ此書管ニ英學者ニ最大ノ便益ヲ與フルノミナ
ラズ又且和學等ノ英文法ヲ窺ハントスルノ場合ニ當テ
或ハ幾分ノ參考トナルベキヲ信ズ

一 此ノ如ク文体ハ任意ノ普通文ニ屬スルガ如シトイヘト
モ敢テ撰ニ原文ノ造構ニ違ザカラズ唯タ或ハ章句ノ小
部分ヲ顛倒錯置シ或ハ動詞ノ自動性ヲ受動性ニ受動性

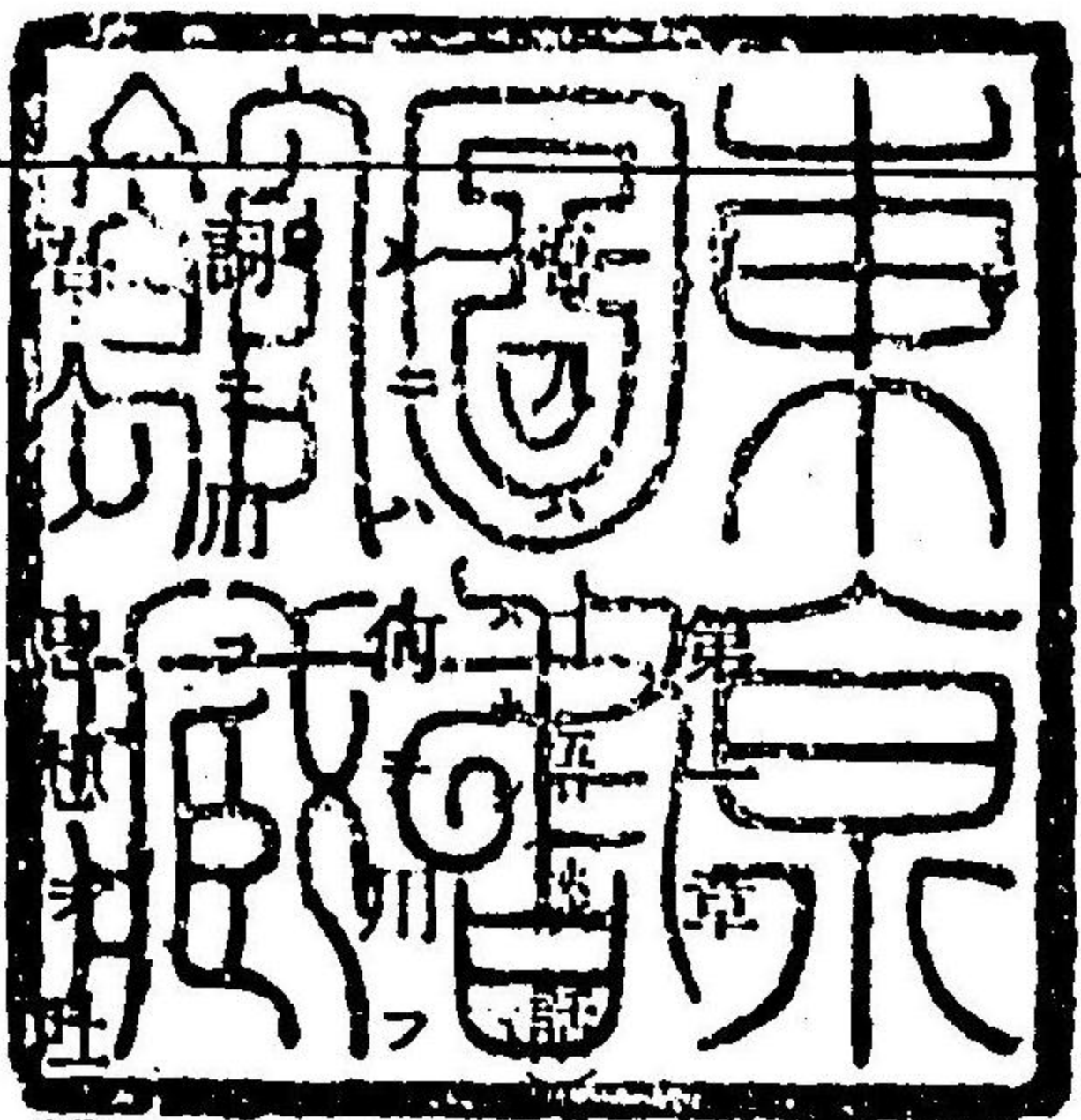
夫自動性ニ變換シタル等ノ事アルノミ通編文勢ノ伸ビ
 ザル亦已ヲ得ザルモノアリテ存スルナリ
 一譯語ノ不穩或ハ先達ノ笑ヲ招クベキモノ其レ果シテ
 カラザルベシ讀者幸ニ語解ニ注意シテ譯語ニ拘泥スル
 勿キヲ希望ス

明治十九年一月

譯者識

文法詳解
 ブラウン氏小文典釋義

ゴールド、ブラウン氏原著
 ヘヌリー、キヅドル氏訂正
 澤田重遠譯述



國語
 或ハ筆語(文章)ヲ以テ吾人ノ思想ヲ吐露ス
 付
 露スベキ此法ヲ何ト稱スルヤ

國語ト稱ス

地球上ノ人民ハ悉皆同一ノ國語ヲ用サルヤ
 否國ノ異ナルニ隨ヒ其國語亦タ異ナリ

(1)

○第一編○第一章國語。

英國人ハ何ノ國語ヲ用ヰルヤ
 英國語ヲ用フ
 國語ヲ使用スルニ幾法アリヤ
 二法アリ 說話及ビ筆記ノ法是レナリ
 然ラハ國語ニ幾種類アリヤ
 二種アリ 說話ノ國語及ビ筆記ノ國語是レナリ
 英國語ハ何國ニ於テ用ヰラル、ヤ
 英國、合衆國、及ビ其他ノ數國ニ於テ用ヰラル
 國語ヲ正當ニ使用セント欲セハ吾人先ツ其文法ヲ講究セ
 ザルベカラズ
 英文法トハ英語ヲ語リ或ハ之ヲ筆記スルニ其正當ノ法則
 ヲ講究スル學ナリ

第二章 詞、思想、看念

吾人ハ嘗テ目撃セシトナモノ任何物体例ハ樹木ヲ恰モ或ル眞像
 若シクハ攝影ヲ現ニ目撃スルカ如クニ心中ニ想起シ得ベ
 シ此感覺ヲ名ケテ看念トイフ夫レ此ノ如クニ樹木ナル詞
 ハ口語若シクハ筆語ニ於テ樹木ノ看念ヲ顯ハシ得ベシ故
 ニ惣ヘテ詞ナルモノハ人ヲシテ其物体ノ看念ヲ想起セシ
 ムルモノナリ
 余ハ左ニ數種ノ詞ヲ掲ケ以テ學者ヲシテ其物体ノ看念ヲ
 想起セシメント欲ス

- 馬
- 黒き馬
- 乘馬の人

黒き馬に乗りたる人
車を挽きて走る馬

學者ハ此等ノ數詞ニ接シテハ則チ現ニ其物ヲ目撃スルカ
如キ感覺ヲ想起スルベシ

余ハ更ニ又タ左ニ耳、鼻、舌、及皮膚ニ觸ルベキモノヲ掲ケ以
テ同シク學者ヲシテ其看念ヲ想起セシメント欲ス

雷が轟く

薔薇が芳しく蒸はる

橙が快き酸味を帯ふ

天鵝絨の皮膚に觸れて柔軟なり

此等ノ數詞ニ接シテハ學者縱令聽、嗅、味、觸ノ感覺ヲ想起ス
ルナルベケレトモ之ヲ彼ノ樹木、馬及ヒ其他ノ目ニ觸ルベ

キ物体ニ比スレハ其感覺ノ勢力遙カニ弱ハカルベシ是レ
即チ世人ガ所謂視官ハ五官中ノ最タル所謂ナリ
吾人事物ヲ思想スルニハ必ス先ツ許多ノ看念ヲ集合セザ
ルヘカラス學者試ニ

鳥が木に巢を造くる

トイヘル思想ヲ起シタリト假定セヨ抑、此思想ノ起ル原因
ハ何ソフト尋ヌルニ

鳥造くる事ナル看念

アリ此等ノ看念再ヒ交互ニ關係シテ

鳥が造くる

巢が造くらる、

巢が木に於てある

ト變シ而シテ後此等ヲ集合シテ始メテ完全ナル一個ノ思想トナルナリ

吾人ハ許多ノ看念ヲ用ヰルニアラスノハ常ニ思想スルコト能ハス又タ詞(即チ此等ノ看念ヲ顯ハスモノ)ヲ用ヰルコトナクシハ吾人ノ意中チ他人ニ通スル能ハサルナリ

此等ノ詞ノ正當ニ集合シタルモノハ即チ國語ナリ然ラハ國語ハ何ソト問ハ、答ヘテ曰ハソ

●國語トハ說話若シクハ筆記ニ於ケル吾人ガ思想ノ表明物ナリト

第三章 文字「シレブル」及ヒ詞

●文字ハ人間ノ音聲ヲ顯ハスモノニシテ響、名及ヒ形ヲ有ス

*man, boys, school*ノ如ク數個ノ文字ヲ連結スルトキハ因テ成ル所ノモノハ何アヤ

日ク詞ナリ

二三ノ文字ヲ連結スル(例ヘハ *set*ノ三字ヲ連結シテ *set*トナ

シ *set*ヲ以テ *set*トナシ *pa*ヲ以テ *pa*トナシ *per*ヲ以テ *per*トナ

ス如ク)トキハ必ス完全ナル詞ヲ成形スルヤ

日ク否完全ナル詞トナルコトアリ或ハ單ニ詞ノ部分トナ

ルコトアリ

此ノ如キ詞ノ部分ヲ何ト稱スルヤ

●シ●レ●ブル●(字句音トデモ譯スベキカ)ト稱ス

文字ニハ常ニ一定ノ形狀アリヤ

日ク否數種ノ形狀アリ乃チ左ニ

A, B, C, D, E, F, } 等
a, b, c, d, e, f, }

第一列ノ大ナル文字ヲ頭字ト稱シ第二列ノ小ナル文字ヲ小字ト稱ス

以上二様ノ字形ハ甚タ古代ノ文字ニシテ二千餘年前羅馬人既ニ之ヲ用ヰタリ故ニ名ツケテ羅馬字トイフ
又タ別ニ左ノ字形アリ

A, B, C, D, E, F, } 等
a, b, c, d, e, f, }

以上ノ二様ヲ伊太利字トイフ何トナレハ伊太利人が其國語ヲ記スニ此字形ヲ用ヰレハナリ
更ニ又タ一形アリ

Totius est in parte.

此字形ハ筆記ニ用ヰルモノニシテ筆記体トイフ

第四章 復習界説

文字トハ人間ノ音聲ヲ顯ハス爲メニ用ヰルトコロノ記号ナリ
任何國語ニ用フベキ文字ヲ惣括シテ「アルファベット」(字母ノ意ト名ヅク)

英語ノ「アルファベット」ハ二十六文字ヲ含有ス
此「アルファベット」ヲ頭字及ヒ小字ノ二様ニ區別ス

英語ニ於テハ通常羅馬字ヲ用フ然レドモ文章中特ニ讀者ノ注意ヲ要スルトキ(例ヘハ語勢或ハ區別)ニハ伊太利字ヲ挿入ス

筆記書簡等ニハ筆記形ヲ用フ
「シレブル」トハ一音トシテ一呼ニ發音スベキ二三字ノ結合

○第一編 ○第五章。文字「シレブル」ノ種別

コシテ或ハ完全ノ詞トナリ或ハ詞ノ部分トナルモノナリ
 詞トハ看念ノ符号トシテ口ニ語リ或ハ筆ニ記ルスベキ一
 若シクハ二三結合ノ「シレブル」ナリ
 一「シレブル」ニシテ成レル詞ヲ一音詞、二「シレブル」ノ結合ヨ
 リ成形スルモノヲ二音詞、其三ノモノヲ三音詞トイヒ其四
 以上ヨリ成ルモノヲ多音詞トイフ

第五章 文字及ヒ「シレブル」ノ種別

文字ヲ分テ二種ト爲ス母字及ヒ子字(所謂母音及ヒ子音)是
 レナリ
 母字トハ單獨ニ發音シテ完全ナル音ヲ爲スベキ文字ナリ
 例ヘハ a e o ノ如シ
 注シテ曰ク母字トハ舌或ハ唇等ヲ用ヰルコト無クシテ

○第一編 第五章 文字「シレブル」ノ種別

自在ニ發音シ得ベキ文字ナリ
 子字トハ母字ニ結合シテ發音サル、ニアラズンハ完全ナ
 ル音ヲ發スル能ハサル文字ナリ例ヘハ b c d ノ如シ
 注シテ曰ク子字トハ舌或ハ唇等ヲ用ヰルニアラズンハ
 到底發音スル能ハサル文字ナリ
 母字ハ a e i o u ノ五字ニシテ時トシテハ w 及ヒ y ノ二
 字ヲ加フルコトアリ
 惣ヘテ其他ノ文字ハ子字ナリ
 w 及ヒ y ハ同一ノ「シレブル」中ニ於テ響クベキ母字ニ先立
 ツ時ハ子字トナリ之ニ反スルトキハ惣ベテ母字トナル例
 ヘハ wine, twine, rhine, ye, yet, youth
 newly, deny, eyelrow. 於ケル w 及ヒ y ハ母字ナルカ如シ

通常一個ノ「シレブル」中ニハ一個ノ母字ヲ含有ストイヘトモ又々時トシテハ二個或ハ三個ノ母字ヲ重結スルコトアリ是ニ於テ手所謂二重母字或ハ三重母字ナル者ヲ現出ス

二重母字トハ「シレブル」中ニ於テ二個ノ母字ノ重結シタル者ナリ例ヘハ原例ノ如シ

適當二重母字トハ二母字両ナガラ響クベキ二重母字ナイフ例ヘハ原例ノ如シ

不適當二重母字トハ二母字中ノ一ノミ響クベキ二重母字ナイフ例ヘハ原例ノ如シ

三重母字トハ「シレブル」中ニ於テ三母字ノ重結シタル者ナリ例ヘハ原例ノ如シ

適當三重母字トハ三母字悉皆響クベキ三重母字ナイフ例

ヘハ原例ノ如シ

不適當三重母字トハ三母字中ノ一若シクハ二ノミ響クベキ三重母字ナイフ例ヘハ原例ノ如シ

第六章 語、其種類及ヒ區別

詞ニ單詞及ヒ複詞ノ二種アリ

單詞トハ他ノ詞ヨリ組成セラレザルモノナリ(他ノ詞ヲ假ラズシテ存在スル者)例ヘハ *watch, man* ノ如シ

複詞トハ二三以上ノ單詞ヨリ組成セラル、モノナリ例ヘハ *watchman, never the less* ノ如シ

watch(見張する)及ヒ *man*(人)ハ各單詞ナリ若シ此ヲ結合シテ一詞ト爲セハ *watchman*(見張する人)ナル複詞トナル

詞ニ亦々原詞及ヒ枝詞ノ二類アリ

○第一編 ○第六章 語其種類區別

●原詞トハ國語ニ於ケル任何單詞ヨリ成形セラレザル詞ナリ
 ●例ハハ *harm, great* ノ如シ
 ●枝詞トハ國語ニ於ケル或ル單詞ヨリ成形セラル、詞ナリ
 ●例ハハ *harmless, greatly* ノ如シ

harmless ハ *harm* (害) ト *less* (無) トヨリ成形ス

詞ヲ其「シレブル」ニ分ツニハ主トシテ聽官ノ習慣ニ依ル次ニ舉クル所ノ規則ハ學者ノ宜シク注意スベキ所ナリ

〔第一則〕子字ハ發音ニ於テ其變化スル所ノ母字或ハ二重母字ニ通例結合セザルベカラズ

〔第二則〕二個ノ母音重結シ而カモ二重母字ヲ爲サトル時ハ(第五章二重母字ノ解ヲ見ヨ)其「シレブル」ヲ分ツニ當テ母字ヲ別々ニスベシ

〔第三則〕枝詞ノ詞尾及ヒ文法上ノ詞尾ハ其加ヘラレタル根詞ヨリ分タレザルベカラズ

〔第四則〕詞頭ノ附加(原例 *mis-place* ノ *mis* ノ如シ)ハ通常別「シレブル」ヲ爲スベシ然レドモ其根詞ノ意義無關係ナルキハ此限ニアラズ(例ハハ *re-create* ト *re-reate* ト別義ノ詞ナルカ如シ)

〔第五則〕複詞ハ之ヲ組成セル單詞ニマテ分タザルベカラズ

〔第六則〕詞列ノ末端ニ於テ若シ已ムヲ得ザレバ(此列ヨリ次列ニ跨ガ^{キヤウスク}ル詞ノ如キ)詞ヲ分ツモ妨ナシ然レトモ決^{キヤウスク}シ「シレブル」ヲ破折スベカラス(「シレブル」ト「シレブル」トノ間ハ分チ得ベキモ一個ノ「シレブル」ヲ

○第一編 ○第六章 語其種類區別

兩分スベカラズ

第七章 綴詞

綴詞トハ適當ノ文字ヲ集メテ詞ヲ綴ルノ術ナリ

綴詞規則

第一則 詞尾 F L S

單ナル母字ニ先立タレフハ若シクハsニ終レル一音詞ハ其詞尾ノ子字ヲ重ヌベシ但シ *claf, if, of* ニ於ケルハ又タ *bal, sal, sol,* ニ於ケルハ及ヒ *as, gas, has, was, yes, is, his, this, us, thus, plus* ニ於ケルハ此規則外ノ者トス

第二則 他ノ詞尾

f, l, s ヲ除ク外ノ任何子字ニ終ル詞ハ詞尾ノ子字ヲ重ヌルヲ要セズ但シ此規則ニ適合セサルモノハ何々(原例

ノ通り)及ヒ或ル固有名詞ナリ

第三則 重ヌル事

一音詞及ヒ末「シレブル」ニ強音符ヲ有スル詞ニシテ單母字ニ先立タレタル單子字若シクハ *um* ノ後ニ來レル母字ヲ以テ終ル時ハ其詞尾ノ子字ヲ母字ニテ始ムルトコロノ附加ノ「シレブル」ノ前ニ重ヌベキ事即チ原例ノ如シ但シ詞尾ノ *u* ハ *u* ニ其音均シクシテ重ヌルヲ要セズ

第四則 重ネザル事

詞尾ノ子字ニシテ單ナル母字ニ先立レザル時及ヒ壓音符カ末「シレブル」ニ在ル時ハ附加ノ「シレブル」ノ前ニ其儘殘ラザルベカラズ(詞尾ヲ變化セズ)例ヘハ原例ノ如シ但シ詞尾 *l* 及ヒ *u* ハ縱令ウエプスター氏ニ倣フモ末「シレブ

ル」ニ強音符ヲ有セサルトキハ屢々重スル事アリ

第五則 其儘殘ル事

任意ノ二重文字ニ終ルトコロノ詞ハ同一ノ文字ヲ以テ始メザル任意ノ附加ノ詞尾ノ前ニ之ヲ重スルコトヲ保存スル例ヘハ原例ノ如シ但シ不規則ナル詞何々(原例ノ通り)及ヒ *point* ナル詞ヨリノ枝詞ハ此規則ニ適合セザルモノトス

第六則 詞尾 E

原詞ニ於ケル無聲ノ e ナル詞尾ハ通常母字ヲ以テ始ムル所ノ附加ノ詞尾ノ前ニ之ヲ除キ去ルナリ例ヘハ原例ノ如シ但シ *es* 或ハ *ge* ニ終レル詞ハ。或ハ *g* ノ軟音(即チ「ス」)ヲ保存スル爲メニ *able* 或ハ *ous* ノ前ニ e ヲ其儘ニ殘留スルナリ例ヘハ原例ノ如シ

第七則 詞尾 E

原詞ノ詞尾 E ハ子字ヲ以テ始ムルトコロノ附加ノ詞尾ノ前ニ其儘殘留スルヲ通常トス例ヘハ原例ノ如シ但シ其。若シ母字ニ先立タル、時ハ屢々除キ去ラル、コトアリ或ハ殘置セラル、コトアリ

第八則 詞尾 Y

原詞ノ詞尾 Y ハ子字ニ先立タルトキハ附加ノ詞尾ノ前ニ之ヲ I ニ變スルモノトス例ヘハ原例ノ如シ但シ *ing* ノ前ニハ e ノ重複ヲ避ケン爲メニ其儘ニ殘留ス又 *taie* ニ終レル詞ハ第六則ニ依テ e ヲ落トシ同理ニ依テ *es* ニ變スルナリ注意ニ曰ク母字が先立ツ場合ニハ e ハ變化スベカラザル事

第九則 複詞

複詞ハ之ヲ組成スル所ノ單詞ノ性質ヲ保存スルヲ常トス例ヘハ原例ノ如シ但シ永久複詞ニ於テハ *full* 及ヒ *all* ナル詞ノヘ一個ヲ落スモノトス例ヘハ原例ノ如シ其他ニ於テハ二個トモ殘留スベシ例ヘハ原例ノ如シ

第八章 頭字

頭字ヲ正當ニ使用スルハ甚タ肝要ナル一事ナリ左ニ掲グル所ノ規則ハ學者ノ宜シク注意セザルベカラザル所ナリ

第一則 書物ノ表題

書物ノ表題及ヒ其主ナル章ノ頭ハ頭字ヲ以テ印行セザルベカラズ又タ書物ガ單ニ記載サル、時ハ其表題ニハ頭字ヲ用キ其他ハ惣ヘテ小字ヲ用ウベキ事原例ヲ見ヨ

第二則 最初ノ詞

各別ノ文章ノ最初ノ詞或ハ別々ニ分節セラレタル長句ハ頭字ヲ以テ始ムベシ

第三則 神ノ名

惣ベテノ神ノ名ハ頭字ヲ以テ初ムベシ

第四則 固有ノ名

官職或ハ名譽ノ名號及ヒ各種ノ固有名詞ハ頭字ヲ以テ始ムベシ

第五則 人ニ摸擬セラレタル物品

人ニ摸擬セラレタル物品ニシテ格段ナル物ノ看念ヲ帶ブルトキハ頭字ヲ以テ始ムベシ

第六則 導カレタル詞

固有ノ人或ハ場所ヨリ導カレタル詞ハ頭字ヲ以テ初メザルベカラズ

第七則 I 及ヒ O

I 及ヒ O ナル詞(字ト混スル勿レ)常ニ頭字ヲ以テ初メサルベカラズ

第八則 詩

詩ハ每列頭字ヲ以テ初メザルベカラス但シ前列ト連絡シテ一個ノ節ヲ爲スモノハ此限ニアラズ

第九則 例

完キ例著シキ演説或ハ直接引用ノ詞ハ頭字ヲ以テ始メザルベカラズ

第十則 主要ナル詞

第一款 詞ノ品種

第一章 事物ノ名目

教官先ツ任何物体(例へハ鉛筆書籍鉛筆等)ヲ提出シ生徒ニ向テ問フ

[問] 此レノ名ハ何ア 此レノハ 此レノハ

[答] 鉛筆ナリ 書籍ナリ 鉛筆ナリ 石盤ナリ

○第二編 ○第一節 詞ノ品種 ○第二章 事物ノ名目

次ニ教官ハ自身若シクハ生徒中ノ一人ヲ指名シ以上ノ詞ヲ黑板ニ書シ而シテ後生徒ニ向テ問フ

〔問〕此等ノ詞ハ何ソヤ

〔答〕物ノ名ナリ

〔問〕何故ニ名ガ物ニ與ヘラル、ヤ

〔答〕吾人ハ物ノ名ヲ知ルコトナクハ其物ニ就テ話スコト能ハス又タ明亮ニ其物ヲ想像スルコト能ハザレハ

ナリ然ラハ則チ物アレハ隨テ其名アル所以ノ者蓋シ偶然ニアラサルベシ而シテ物ノ名ニ就テ正確ナル智

識ヲ得ルハ乃チ國語ヲ學ブノ第一着ナリ

左ニ掲グル所ノ者チ一々書答セヨ

(一) 人体ノ五部分ノ名

(二) 椅子ノ五部分ノ名

(三) 汝ノ嘗テ目撃セシ物体ノ名五個

(四) 花ノ名五個

(五) 果實ノ名五個

(六) 地名五個

(七) 人名五個

第二章 文主及ヒ文賓

教官任何物体(例へハ書籍ヲ)生徒ノ目前ニ提出シ而シテ問フ

〔問〕此物ノ名ハ何ソヤ

〔答〕書籍ナリ

〔問〕汝等此物ニ就テ言ハント欲スル所ヲ言ヘ

○第二編 ○第二章 文主。文賓

〔答〕書籍が新玄くある

書籍が緑色である

書籍が表包を持つ

書籍が木葉を狭む

吾人の書籍を讀み得る

次ニ教官ハ單一ナル文章(例ヘハ「鳥が飛ぶ」)ヲ黑板ニ書シ而シテ生徒ニ向テ問フ

〔問〕余カ書セシ所ノ者ヲ讀メ

〔答〕鳥が飛ぶ

〔問〕汝已テニ讀メリ汝ノ讀ミシ所ノモノハ何ニ關スルヤ

〔答〕鳥ニ

〔問〕汝ハ鳥ニ就テ何ヲ言フヤ

〔答〕其飛フヲ

次ニ教官ハ又々他ノ文章(例ヘハ「蜜蜂が蜜を製る」)ヲ黑板ニ書シ生徒ニ向テ問フ事左ノ如シ

〔問〕此所ニ何ヲ言フヤ

〔問〕蜂ニ就テ何か言ハル、ヤ

次ニ教官ハ又々他ノ文章(例ヘハ「ウサギが遊ぶ、シヨンが勉強する、メーリーが縫ぬ、熊が吼る、蜂が刺す、童子が走る」)ヲ書シ而シテ生徒ニ向テ

此等ノ文章ノ各ニ就テ何か言ハル、カ余ハ汝等ノ答フル所ヲ一々黑板ニ書スベシ

トイ、ツ、一條ノ直線ヲ黑板ノ中央ニ畫シ其一方ニ列記シ謂テ曰フ

○第二編 ○第二章 文主・文賓

各文章ニ就テ言ハル、所ノモノヲ言ヘ余ハ乃チ汝等
ノ答チ直線ノ他方ニ書スベシ

ウキリアムが

遊ぶ

シヨソが

勉強する

メーリーが

縫ふ

熊が

吼ゆる

蜂が

刺す

童男が

走る

何物ニ限ラス言ハル、トコロノモノ之ヲ文主トイフ
何物ニ限ラス文主ニ就テ言ハル、トコロノモノ之ヲ文賓
トイフ

注シテ曰ク「熊が吼ゆる」トイヘル文章ヲ見ヨ此所ニ何カ

○第二編 ○第三章 文章

言ハル、ヤ全ク熊ノ事ガ言ハル、ナリ故ニ「熊が」ナル詞
ハ文主ナリ又々文主即チ熊ニ就テ言ハル、所ノ者ハ何
アヤ曰ク「吼ゆる」トイフコトナリ故ニ之ヲ文賓トイフ

第三章 文章

文主及ヒ文賓ノ互ニ結合シタルモノハ以テ完全ナル思想
ヲ吐露スルニ足ル之ヲ反言スレハ以テ完全ナル意義ヲ現
ハスニ足ル
任何單詞ハ一個ノ看念ヲ顯ハシ得ベシトイヘトモ苟モ完
全ナル意義ヲ吐露セシニハ少クモ二個ノ詞ヲ要ス何トナ
レハ既ニ言ヘル如ク主賓ノ兩詞ナクンハ以テ完全ナル意
義ヲ顯ハス能ハサレハナリ
教官説明ノ順序左ノ如シ

先ッ黑板ニ「書物」ト書シ問テ曰ク

〔問〕此等ノ詞ハ完キ意思ヲ爲スカ

〔答〕否、單ニ看念ニ止マル

〔問〕其故如何

〔答〕文賓ヲ欠ケバナリ

〔問〕「走る」ナル詞ニ於テ意思完キヤ

〔答〕否

〔問〕其故如何

〔答〕文主ヲ缺ケハナリ

次ニ教官ハ黑板ニ「机の上に」ト書ス

〔問〕此等ノ詞ハ完キ意思ヲ爲スカ

〔答〕否、文主モ無ケレハ文賓モ無シ無論完キコト能ハス

數个ノ詞ニシテ完キ意思ヲ爲ストキハ所謂文章ナスモノ
ヲ成形スルナリ

然ラハ文章トハ何ゾ

文章トハ完全ナル意義ヲ爲ストコロノ二個以上ノ詞ノ集

合ナリ

左ノ文章ニ於テ主賓兩詞ヲ見出セヨ

董子が走る

董子が走るか

董子よ走れ

右ノ三章ヲ見ルニ主賓兩詞共ニ相等シ其相異ナルノ點果
シテ何レニ在ルヤ
第一ハ説明ヲ爲シ第二ハ疑問ヲ爲シ第三ハ命令ヲ爲スノ

差アリ

是ニ由テ之ヲ見レハ元來意義上ニ毫モ影響ナキ也 或ハ
Usesノ如キ一片ノ詞ノ使用方ニヨリテ同一ノ主賓兩詞ヲ
結合シナガラ各別ノ意義ヲ含有スルノ文章ヲ作り得ベキ
ナリ

文章ニシテ説明ヲ爲スモノ之ヲ説明体、疑問ヲ爲スモノ之
ヲ疑問体、命令ヲ爲スモノ之ヲ命令体ノ文章ト名ツク
文章ノ感嘆ノ意ヲ含ムモノ之ヲ感嘆体ノ文章ト名ツク例
ヘハ「オ」馬が逝去りつゝ、ある」ノ如シ

第四章 名詞及ヒ代名詞

任何人物、場所、及ヒ事物ノ名ニシテ文章中ニ用サレタル
モノ之ヲ名詞ト名ツク

文章ノ文主ハ名詞ニ限ルカ

文章ノ文主ハ名詞若シクハ其代用ノ詞ナラサルベカラス
其各例ヲ示セ

ジョンが勉強する

彼れが勉強する

第一ノ文章ニ於テハ如何ナル名詞が用サレル、ヤ

第二ノ文章ニ於テハ其代リニ如何ナル詞が用サレル、ヤ

ウヰリアムナル名詞ヲ文主トシテ五個ノ文章ヲ作レ

ウヰリアムが勉強する

ウヰリアムが彼れの日科を勉強する

ウヰリアムが進歩せつゝある

ウヰリアムが讃賞せられぬはあらぬ

ウヰリアムが彼れの先生に貰せらる

今ウヰリアムナル名詞ヲ第一ノ文章ニノミ用ヰテ全上五個ノ文章ヲ作レ

此等ノ文章ノ第二及ヒ第五ニ於テ名詞ノ代リニ如何ナル詞カ用ヰラル、ヤ

名詞ノ代リニ用ヰラレタル詞ヲ以テ他ノ五文章ヲ作レ名詞ノ代リニ用ヰラレタル詞ヲ代名詞ト名ツ

ノーリーがメーリーノ書物をメーリーノ兄弟あるチャールスニ與ヘたり

此文章中ニ代名詞ヲ含ムヤ

汝ハ名詞ノ代リニ代名詞ヲ用ヰ得ルヤ
メーリーナル名詞ヲ反復重用セスシテ用ヰラレ得ベキダ

ケノ代名詞ヲ用ヰテ上ノ文章ヲ作レ

メーリーが彼女の書物を彼女の兄弟あるチャールスニ與ヘたり

代名詞ハ何ノ用ヲ爲スヤ

同一ノ名詞ヲ頻回反復スルコトヲ避クル爲メニ用ヰラル左ニ舉ケタル名詞ヲ文主トシテ用ヰラレ得ベキダケノ代名詞ヲ用ヰ以テ五個ノ文章ヲ作レ

サミユエル シュリア 木 船 月 星

第五章 動詞

鳥が飛ぶ チャールスが教へらる 彼れがある
此等ノ文章ニ於ケル文賓ヲ指示セヨ
「飛ぶ」ナル文賓ハ何ヲ顯ハスヤ

鳥が爲ス所ノ者ヲ顯ハス

「教へらる」ナル文賓ハ「チヤールス」ガ爲ス所ノ者ヲ顯ハスカ

將ヲ彼ガ爲サル、トコロノモノヲ顯ハスカ

「ある」ナル文賓ハ爲方受方ノ兩様ヲ現ハスカ

以上ノ文賓ハ何レガ作動ヲ現ハスカ

何レガ作動無シニ有様ヲ顯ハスカ

何レガ文主ノ自動ヲ顯ハスカ

何レガ文主ノ受動ヲ顯ハスカ

文章中ニ於テ文主ガ自カラ働クコト却テ他物ノ働キ受ク

ルコト及ヒ單ニ其有様ヲ顯ハスカ詞ヲ動詞ト名ツク

然ラハ動詞トハ何ツ

動詞トハ有様自動或ハ受動ヲ顯ハスカベキ詞ナリ

左ノ各文章ニ於テ何レガ動詞ナリヤ

(文主)

(文賓)

地球が

圓き体である

ジョンが

彼れの課業を勉強する

馬が

甚だ早く走る

カインが

アベルを殺せり

アベルが

カインに殺されたり

孟子が

彼れの教師より罰せられし

動詞ハ文主ノ一部分カ將タ文賓ノカ

文賓中ヨリ動詞ヲ除キタル殘餘ノ詞ハ何ノ用ヲ爲スツ

文賓ヲ完全ナラシムル爲メナリ例ヘハ「孟子が勉強する」ト

イヘハ即チ主賓兩詞ヲ含有スルヲ以テ文章ト稱スベシ然

レトモ此レニテハ文質ノ意味完キコト能ハス何トナレハ
童子カ何ヲ勉強スルカヲ示サ、レバナリ

第六章 冠詞及ヒ形容詞

The bird sings. A bird can fly.

以上ノ各文章ニ於テ何レノ詞ガ文主ナルヤ

The bird トイヘハ任何ノ鳥ヲ顯ハスカ將タ格段ナル鳥ノ謂

カ

或ル格段ナル鳥ノ謂ナリ

A bird トハ何ノ謂カ

任何ノ鳥ノ謂ニシテ格段ナル鳥ノ謂ニ非ズ

然ラハ *The* 或ハ *an* ノ用方如何

此等ノ二詞ヲ名詞ニ冠スルトキハ意義上ニ變動ヲ呈スベ

キヤ

恣義ヲ變動セシムルトイフニアラザレトモ意味ノ限界ニ

廣狹ノ差ヲ生ス即チ *the bird, the flower* トイヘハ *a bird, a flower* ヨ

リハ其限界狭小ナリ

A apple, a eye, a oak トイフハ正シキ言ヒ方ナルヤ

其代リニ何トイヘハ正シキヤ

An apple, an eye, an oak トイヘハ正シ

此ノ如ク冠詞ヲ頂ケル詞ガ母字若シクハ母字ノ響ヲ以テ

始マルトキハ *a* チ *an* ニ變スルモノトス例ハ *An heir, an hour*

(何レモ母字ノ響ヲ以テ始マル)ノ如シ

a, an, the ノ三詞ヲ冠詞ト名ツク

冠詞ヲ如何ニ説明スルヤ

意義ノ限界ヲ定メシメ爲メ名詞ノ前ニ置ケトコロ *she* 及ヒ
is 或ハ *is* ナル詞之ヲ冠詞トイフ
The good boy learns ナル文章ニ於テ *boy* ナル詞ニ冠詞ノ外如何ナ
 ル詞ガ加ヘラル、ヤ
good ナル詞ハ何ノ目的ヲ以テ加ヘラル、ヤ
 童子ノ種類如何ヲ示ス爲メ即チ彼レノ性質ヲ示ス爲メニ
 加ヘラル、ナリ
 此ノ如キ目的ヲ以テ名詞或ハ代名詞ニ加ヘラレタル詞之
 ヲ形容詞ト名ツク
 形容詞トハ何ソヤ
 形容詞トハ名詞或ハ代名詞ニ加ヘテ通常其性質ヲ現ハス
 ベキ詞ナリ

第七章 附屬

善良なる童子ハ常に両親に順ふ
 此文章ニ於テ其文主ハ何レナルヤ又タ文賓ハ
 如何ナル名詞ガ文主ノ一部分ヲ占ムルヤ又タ如何ナル冠
 詞如何ナル形容詞ガ其部分ヲ成形スルヤ
 如何ナル動詞ガ文賓ノ一部分ヲ占ムルヤ又タ如何ナル他
 ノ詞ガ文賓ニ附屬スルヤ
 「童子」ナル名詞ニ如何ナル詞ガ加ヘラル、ヤ
 「順ふ」ナル動詞ニ如何ナル詞ガ加ヘラル、ヤ
 文章中ニ於テ或ル詞(一個ノ詞ニ限ラス)ニ加ヘラレタル他
 ノ詞(全上)ヲ附屬ト名ツク
 各ノ文章ハ何々ヲ含有セザルベカラサルヤ

文主、文賓及ヒ附屬ヲ
 文主及ヒ文賓ハ一文章ノ主●要●部●分●ナリ
 文主中ノ主要ナル詞ハ名詞或ハ代名詞ニシテ附屬之レニ
 屬ス

文賓中ノ主要ナル詞ハ動詞ニシテ惣ヘテノ附屬ハ直接或
 ハ間接ニ之ニ附屬ス

第八章 分詞

ウヰリアムが家に行く所で彼れの書物を遺失えたり
 此文章ノ文主ハ何ナリヤ
 其文主ニ何が添ヘラル、ヤ
 「家に行くところで」が添ヘラル
 此等ノ詞ノ何レか他ノモノ、附屬ナルヤ

「家」ハ「行く」ところで「ノ」附屬ナリ
 其レハ何ヲ示スヤ
 ウヰリアムが何所へ行キツ、アリシヤヲ示ス
 「行く」ところで「何」ヲ示スヤ
 作動ヲ示ス
 然ラハ其レハ何ニ似寄ルヤ
 日シ動詞ニ似ルナリ
 何ノ名詞ニ其レが加ヘラル、ヤ
 日シウヰリアムナル名詞ニ加ヘラル
 然ラハ其ハ動詞ノ外何ニ似寄ルヤ
 日シ形容詞ニ似ルナリ
 分詞ナル詞ハ即チ此所ニ基クモノニシテ動詞ト形容詞ト

ノ兩性ヲ分取スルノ謂ナリ
分詞ハ常ニ形容詞ニ似寄ルヤ

曰ク否或ル分詞ハ動詞及ヒ名詞ノ兩性ヲ分領ス例ヘハ「ウ
キリアムハ物語本を讀む事を好む」ガ如シ

分詞トハ何ソヤ

分詞トハ動詞ヨリ導カレタル詞ニシテ動詞、形容詞或ハ名
詞ノ性質ヲ分領スルモノナリ通常動詞ニ *ing, r* 或ハ *ed* チ加

ヘテ成形ス

第九章 副詞

馬が速に走る

奈何ナル動詞ガ此文章ノ文賓トシテ用ヰラル、ヤ

其ハ奈何ナル附屬ヲ有スルヤ

「速に」ナル詞ハ何ヲ示スヤ

馬が走ル有様如何ヲ示ス

馬が甚だ早く走る

此文章ニ於テ「早く」ナル詞ニ如何ナル詞ガ加ヘラル、ヤ

「甚だ」ナル詞ハ何ヲ現ハスヤ

如何程早ク馬が走ルカヲ現ハス即チ早サノ度ヲ示スナリ

左ノ文章ニ於テ如何ナル詞ガ度ヲ示スヤ

シヨンハ常ニ活潑なる生徒なり

如何ナル詞ニ迄テ「非常に」ガ加ヘラル、ヤ

彼男が今日其所に行きし

「此文章ニ於テ「行きし」ナル動詞ハ如何ナル附屬ヲ有スルヤ

其所に」ナル詞ハ何ヲ示スヤ

「今日」ナル詞ハ何ヲ示スヤ
動詞ニ加ヘラレタル此類ノ詞ヲ副詞トイフ
然ラハ副詞トハ何ソ

●副詞トハ動詞、分詞、形容詞若シクハ他ノ副詞ニ加ヘラレタル詞ニシテ通常時刻、位置、度量、或ハ状態ヲ顯ハスモノナリ

第十章 接續詞

ジョソノハ其き學生なり
ウヰリアムハ其き學生なり
ヤールスハ其き學生なり

此所ニ幾文章アリヤ

如何ナル關係ニテ右ノ各文章ハ相似寄ルヤ

各文章ニ於テ各文賓互ニ同一ナレハナリ

各文章ヲ結合シテ一個ノ文賓ニ纏メ得ルヤ

然リジョソノウヰリアム及ヒチャールスハ其き學生なり

右ハ文主ヲ結合シタルノカ將タ文賓カ

如何ナル詞ガ其等ヲ結合スルニ用ヰラル、ヤ

此ノ如ク他ノ詞ヲ結合スル爲メニ用ヰラレタル詞ヲ接續

詞トイフ

左ノ各文章ヲ一纏ニ結合シ得ベキヤ

メーリーハ勉強家なり

彼女の姉妹は怠惰者なり

然リ左ノ如ク結合シ得ベシ

メーリーは勉強家なり然れども彼女の姉妹は怠惰者なり

此等ノ文章ヲ結合スルニハ如何ナル詞ガ用ヰラル、ヤ

然ラハ接續詞ハ何々ヲ接續スベキヤ

詞及ヒ文章ヲ
 然ラハ接續詞トハ何ゾ
 接續詞トハ文章ノ造構ニ於テ詞或ハ文章ヲ接續スベク用
 非ラレタル詞ニシテ此ノ如ク接續セラレタル詞ノ附屬ヲ
 斷ハスモノナリ

第十一章 前置詞

鳥が樹を越へて飛びし
 童男が樹の上に登りし
 栗鼠が樹の下に走りし
 以上ノ文章ニ於テ如何ナル動詞ガ用非ラル、ヤ其動詞ニ
 ヲリテ顯ハサレタル動作ハ何ニ關係スルヤ
 樹ニ迄テ關係ス

其關係ハ各ニ於テ同一ナルヤ
 否、第一ニ於テハ樹ヲ越へて、第二ニ於テハ樹ノ上ニ、第三ニ
 於テハ樹ノ下に、差アリ
 如何ナル詞ガ此關係ヲ顯ハスベク用非ラル、ヤ
 「越へて」「上ニ」「及ヒ」「下ニ」ナル三詞
 此ノ如ク關係ヲ顯ハス所ノ詞ヲ名ケテ前置詞トイフ
 前置詞ヲ如何ニ説明スルヤ
 前置詞トハ交互ノ間ニ相異ナリタル事物或ハ思想ノ或ル
 關係ヲ言顯ハスベキ爲メニ用非ラレタル詞ニシテ通常名
 詞或ハ代名詞ノ前ニ置カル、モノナリ
 第十二章 間投詞及ヒ詞ノ品種
 オ、ナントマ、美玄く空があるよ

右ハ文章ノ如何ナル種類ニ屬スルヤ

〔第三章ヲ見ヨ〕

其レニ於テ如何ナル詞ガ感情ヲ顯ハスベク用ヰラル、ヤ
文章ノ末尾ニ如何ナル點ガ用ヰラル、ヤ
此ノ如ク感嘆ヲ顯ハス爲メニ用ヰラル詞ヲ間投詞ト
イフ

間投詞ヲ如何ニ説明スルヤ
間投詞トハ單ニ意中ノ或ル強キ或ハ不意ノ感動ヲ現ハス
爲メニ發音サレタル(意味モ無キ)詞ナリ

一文章中ノ惣ヘテノ詞ハ皆同一ノ職務ヲ爲スベキヤ
否、各別ノ職務ヲ爲ス

第十三章 復習界説

或ル者ハ如何ナル務ヲ爲スヤ
事物ノ名ヲ顯ハスモノアリ動作ヲ示スモノアリ其他性質
ナリ關係ナリヲ顯ハスモノアリ又タ或ル者ハ接續ヲ爲ス
等ナリ
此故ニ詞ハ詞ノ品種ト名ケラレタル階級ニ於テ陳列セラ
レタリ
詞ノ品種ノ名ヲ擧ケヨ
冠詞、名詞、形容詞、代名詞、動詞、分詞、副詞、接續詞、前置詞及ヒ間
投詞ナリ
文法ノ一部分ニシテ詞ノ品種其枝別及ヒ其變化ヲ論スル
モノ之ヲ詞論トイフ

文章トハ詞ノ集合ニシテ完全ナル意義ヲ爲スモノナリ例
 へハ原例ノ如シ

英語ニ於ケル詞ノ品種ハ十個ニシテ即チ冠詞、名詞、形容詞、
 代名詞、動詞、分詞、副詞、接續詞、前置詞及ヒ間接詞是レナリ

冠詞トハ名詞ノ意味ヲ限ル爲メニ之ニ冠スルトコロノ *The*
 及ヒ *is* 或ハ *is* ナル詞ナリ例へハ原例ノ如シ

名詞トハ知ラレ或ハ記サレ得ベキ任何人物、場所及ヒ事物
 ノ名ナリ例へハ原例ノ如シ

形容詞トハ名詞或ハ代名詞ニ加ヘテ通常其性質ヲ顯ハス
 所ノ詞ナリ例へハ原例ノ如シ

代名詞トハ名詞ノ代リニ用サレタル詞ナリ例へハ原例
 ノ如シ

動詞トハ有様自動或ハ受動ヲ顯ハスベキ詞ナリ例へハ原
 例ノ如シ

分詞トハ元來動詞ヨリ導カレタル詞ニシテ動詞形容詞若
 シクハ名詞ノ性質ヲ分領ス而シテ通常動詞ニ *ing* 或ハ *ed* ナ
 附加シテ成形スルモノナリ例へハ *rule* ナル一個ノ動詞ヨリ
 三個ノ分詞ヲ成形シ得ベキガ如シ即チ *ruling*、*ruled* 及ヒ *having*
ruled 是レナリ

副詞トハ動詞、分詞、形容詞若シクハ他ノ副詞ニ副ヘラレタ
 ル詞ニシテ通常時刻、位置、分量或ハ状態ヲ顯ハスモノナリ
 例へハ原例ノ如シ

接續詞トハ文章ノ造構ニ於テ詞ト詞ト若シクハ文章ト文
 章トチ接續スル詞ニシテ此ノ如ク接續セラレタル詞ノ附

屬ヲ顯ハスモノナリ
 前置詞トハ交互ノ間ニ種々ノ事物若シクハ思想ノ或ル關係ヲ顯ハス爲メニ用ヰラレタル詞ニシテ通常名詞或ハ代名詞ノ前ニ置カル、モノナリ即チ原例ノ如シ
 問投詞トハ心中ノ或ル強キ或ハ不意ノ感動ヲ顯ス爲メ單ニ發聲サレタル詞ナリ即チ原例ノ如シ

第十四章 解剖

解剖トハ文法ノ界説ト規則トニ基キテ文章ヲ説キ明カスコトナリ

解剖ノ演習

〔第一例〕

The man walks. (人が歩む)

Walks ハ動詞ナリ何トナレハ作動ヲ顯ハセバナリ
 Man ハ名詞ナリ何トナレハ人ノ名ナレバナリ
 The ハ冠詞ナリ何トナレハ man ナル名詞ノ意義ヲ限レハナリ

〔第二例〕

An idle scholar disgraces his teacher. (怠惰なる書生が彼れの教師を輕蔑する)

Idle ハ形容詞ナリ何トナレハ scholar ノ性質ヲ顯ハセバナリ
 His ハ代名詞ナリ何トナレハ scholar ナル名詞ノ代リニ用ヰラレタレバナリ

〔第三例〕

The good scholar attends diligently and carefully to his lessons. (善良なる學生の其課業ニ能く注意する)

Diligently 及び Carefully の共ニ副詞ナリ何トナレハ attend ナル

動詞ニ加ヘテ其状態ヲ顯ハセバナリ
And ハ接続詞ナリ何トナレハ diligently 及び carefully ナル副詞
接続スレハナリ

To ハ前置詞ナリ何トナレハ attend ナル動詞ノ lessons ナル名
詞ニ迄テノ關係ヲ顯ハセバナリ

第十五章 分解

●分解トハ文章ヲ其組成ナルトコロノ部分ニ解キ分ツコト
ナリ
各文章ハ二個ノ主要部分ヲ有セザルベカラズ即チ文主及

●ヒ文賓是レナリ

●文主ト文賓トノ任何結合之ヲ文章ト名ツク

●單文章トハ唯々一個ノ文章ヲ含ムモノナリ例へハ原例ノ

如シ

●短●句トハ意義ノ或ル關係ヲ顯ハスベキ二三以上ノ詞ノ連

●結ニシテ而カモ完全ナル意義ヲ爲ス能ハサルモノナリ例

●へハ原例ノ如シ

●文章ノ文主ハ名詞或ハ代名詞ヲ通常含ムモノニシテ附屬

●ヲ有スルコトアリ或ハ有セザル事アリ

●形容詞分詞名詞或ハ代名詞ニシテ文章ノ文賓ニ用サレ

●ナカラ文主ト關係ヲ有スルモノ(意義ニ於テ主賓別物ニア

●ラズ全ク同一物)之ヲ「アットリピユート」ト名ツク例へハ黄金

が黄色である(黄色が黄金トイフニ同シク到底主賓同一物ノ如シ
單文章ヲ分解センニハ其組織ヲ解テ左ノ件々ヲ指示セン
コトヲ要ス

〔第一〕文主

〔第二〕文賓

〔第三〕主名詞及ヒ其附屬

〔第四〕賓動詞及ヒ其屬副詞

〔第五〕物品及ヒ其附屬

〔第六〕アットゥリビート及ヒ其附屬

〔第一例〕

Contentment brings happiness, (満足が幸福を來たす)

此レハ説明体ノ單文章ナリ
文主ハ contentment ニシテ文賓ハ brings happiness ナリ
文賓中 brings ハ動詞ニシテ happiness ハ物品ナリ

〔第二例〕

All the objects of nature well deserve our diligent study.

此レハ説明体ノ單文章ナリ

文主ハ all the objects of nature ニシテ文賓ハ well deserve our diligent study
ナリ

主名詞ハ objects ニシテ其附屬ハ all, the 及ヒ of nature ナル短
句ナリ

賓動詞ハ deserve ニシテ其附屬ハ副詞 well 及ヒ物品 study ナ
リ

物品ノ附屬ハ our 及ヒ diligent ナリ

〔第三例〕

Filial ingratitude is a shameful Crime (子の義に負く事ハ耻を乞き罪なり)

此レハ説明体ノ單文章ナリ

文主ハ filial ingratitude ニシテ文賓ハ is a shameful crime ナリ

主名詞ハ ingratitude ニシテ其附屬ハ filial ナリ

賓動詞ハ is ニシテ其「アットアリビート」ハ Crime ナリ

「アットアリビート」ノ附屬ハ is 及ヒ shameful ナリ

第十六章 結構及ヒ作文

結構トハ文章ヲ爲スベキ詞ノ結合ナリ

作文トハ思想ヲ露スベキ文章ノ結合ナリ

作文ニ於ケル各文章ハ其吐露スル所ノ思想ニ依テ互ニ相
關係連絡スルモノナリ

〔註〕テ曰ク文章ナル譯語ハ猶ホ句トイフガ如シ讀者支
那流ノ思想ヲ以テ見ル勿レ唯タ詞解ニ注意セヨ

前章ノ演習欄内ニ掲ケタル各文章ハ作文ヲ成形スルヤ
否、各自ノ斷ハス所區々ニシテ互ニ關係連絡セズ故ニ作文
ト稱スル能ハズ

〔注意〕第一同一ノ詞ヲ幾回モ亂用スベカラズ又タ同一ノ思
想ヲ一回ヨリ以上吐露スベカラズ

第二凡ヘテ鄙俗ナル言ヒ顯ハシテ避ケヨ

第三餘リ短キ文章ヲ多ク用ヰル勿レ宜シク適宜ニ結
合シ聽者ノ耳ヲシテ愉快ニ感セシムベシ

第四詞ハ惣ヘテ正シク之ヲ綴リ頭字ノ用方ハ其規則
 = 隨ヒ又々文章ノ終ニハ必ス終止點ヲ用フルニ
 注意セヨ「プロボシヨ」(sentence)ト異レド不得止文
 章ト譯シ來レリ尙ホ前章ノ詞解ヲ見ヨ)及ヒ短句
 ハ通常「カンマ」(,)ニ依テ分タル

猫が四脚を有す、猫が小^{ヘツカキスミ}鼠を捕ふ、其れが四足獸であ
 る、猫が小^{ヘツカキスミ}鼠及び鼠を捕へ得其れが亦た鳥を捕へ得る
 猫が軟き毛皮を有す、彼女(猫ヲ女性ニ形取ルコトア
 リ第二編第四章性ノ篇ニ詳ナリ)が悦バさるゝときに媚
 鳴する、私が非常に愛らしき猫を有す、彼れの名がマ
 ビーである、彼れが私を甚だ好む、一度私が猫に爬か
 れし、猫ハ人家ニハ要用ある動物である(頭字ノ用法及

ヒ施點法ノ如何ハ原文ニ就テ見ザルベカラズ

〔評〕此作文ハ看念十分ニ連絡セズ

〔猫〕及ヒ〔捕ふる〕ナル詞ヲ幾回モ重用シタリ

各文章短ニ過ギテ組織方面白カラズ

頭字用法及ヒ施點法ニ誤謬アリ

前四文章ニ於テ同一ノ看念ノ重用アリ

今之ヲ改編スル左ノ如シ

猫ハ能く小^{ツカキスミ}鼠及び鼠を捕ふるを以て人家に在てハ誠に
 重要ある小四足獸あり此獸亦た能く鳥を捕ふ其毛皮ハ
 柔軟にして其悦ふときハ媚鳴す余ハ能く馴付きたる一
 頭ノ愛らしき猫を養ふ其名をマビーといふ余ハ一日此
 猫に爬かれたることありき

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別變化 ○第一章冠詞

第二款 詞ノ品種ノ種別及變化

第一章 冠詞

冠詞ヲ分テ定冠詞及ヒ不定冠詞ト爲ス

定冠詞トハ或ル格段ナル一物若シクハ多物ヲ現ハスヘキ
Theナル詞ナリ例ヘハ The boy (此童子トイフガ如シ) the oranges (此
等ノ橙トイフガ如シ)ノ如シ

不定冠詞トハ一種類中ノ一物ニシテ固ヨリ格段ニアラサ
ル所ノモノヲ現ハスヘキ An or an (或ハオナル詞ナリ例ヘハ A boy
(一人ノ童子トイフ意) an orange (一個ノ橙トイフ意)ノ如シ

及ヒハ形ハ相異ナレトモ固ト均シク是レ同一種ノ
冠詞ナリ例ヘハ之ヲ冠スル所ノ詞ガ母字ノ響ヲ以テ始マ
ル時用サラル、モノナリ例ヘハ原文ノ如シ A ハ其子字

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別變化 ○第二章名詞其品種

ノ場合ナリ例ヘハ原文ノ如シ是ニ因テ之ヲ見レバ(原例
ヲ指ス) W 及ヒ Y ハ縦令他ノ文字ニヨリテ言ヒ顯ハサル
、時ステ A ナ要シテ An ナ冠セズ

第二章 名詞及ヒ其品種

名詞ヲ大別シテ二種ト爲ス固有及ヒ通有是ナリ

固有名詞トハ或ル格段ナル一物或ハ人民或ハ群衆ノ名ナ
リ例ヘハ原例ノ如シ

通有名詞トハ動物事物ノ種類ニ普ク通スル名ナリ例ヘハ
原例ノ如シ

通有名詞中ニ含メル種類ニ集合、拔萃(無形トモ云フ)動詞狀
及ヒ分詞狀ノ名詞アリ
集合名詞即チ群衆ノ名詞トハ任意ノ物々ノ集合シタル名

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第三章 人稱。數

ナリ例へハ原例ノ如シ
拔萃名詞トハ或ル物質ヨリ拔萃サレタル格段ナル性質ノ
名ナリ例へハ原例ノ如シ
動詞狀或ハ分詞狀名詞トハ或ル動作若シクハ有様ノ名ニ
シテ分詞ノ如ク動詞ヨリ導ヒカレタル詞ニシテ名詞トシ
テ用キラル、モノナリ例へハ原例ノ如シ

第三章 人稱及ヒ數

The boy runs. The boys run.

右二文章ノ異ナル點如何
第一ノ者ハ唯ダ一人ヲ顯ハシ第二ノ者ハ一人以上ヲ意味
ス
此ク差異ヲ示スニハ *boy* ナル詞ニ如何ノ變化ヲ加フベキ

ヤ
Sナル文字ヲ附加スベシ
斯カル變化ヲ「モディフィケーション」(即チ變化ト譯ス)ト名ヅク
「モディフィケーション」ハ時トシテハ名詞ヲ用フル事ノ違タル
仕方ニ迄テ關係ス然ルモニ詞其レ自身ニ於テ一ノ變化ガ
爲サレヌ
名詞ニ四種ノ「モディフィケーション」アリ人稱、數、性及ヒ格是レ
ナリ
人稱
人稱トハ說話ヲ爲ス人(即チ話手)說話ニ對スル人(即チ聽者)及ヒ
說話中ニ語ラル、人獸事物ノ三様ヲ區別スル所ノ「モディフィ
ケーション」ナリ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第三章 人稱。數

○第二編○第二款詞ノ品種ノ種別。變化○第三章人稱。數

第一●人●稱●ト●ハ●演●者●或●ハ●記●者●ヲ●現●ハ●ス●モ●ノ●ナ●リ●例●ハ●ボ●ト●
 ル●私●が●其●れ●を●書●き●し●ノ●如●シ●
 第二●人●稱●ト●ハ●聽●者●或●ハ●呼●び●カ●ケ●ラ●レ●タ●ル●人●ヲ●現●ハ●ス●モ●ノ●
 ナ●リ●例●ハ●ハ●ラ●バ●ー●ト●よ●誰●が●此●れ●を●爲●せ●し●ぞ●ノ●如●シ●
 第三●人●稱●ト●ハ●人●獸●事●物●ノ●單●ニ●話●サ●ル●、●所●ノ●モ●ノ●ヲ●現●ハ●ス●
 モ●ノ●ナ●リ●例●ハ●ハ●ゼ●ー●ム●ス●が●彼●れ●の●書●物●を●愛●す●る●ノ●如●シ●

數

數●ト●ハ●單●個●及●ヒ●複●個●ヲ●現●ハ●ス●ベ●キ●「モ●ヂ●イ●フ●イ●ケ●ー●シ●ヨ●ン」●ナ●リ●
 數●ニ●二●種●ア●リ●單●數●及●ヒ●複●數●是●レ●ナ●リ●
 單●數●ト●ハ●唯●タ●一●個●ヲ●現●ハ●ス●モ●ノ●ナ●リ●例●ハ●董●子●が●勉●強●す●
 る●ノ●如●シ●
 複●數●ト●ハ●一●個●以●上●ヲ●現●ハ●ス●モ●ノ●ナ●リ●例●ハ●董●子●等●が●勉●強●

○第二編○第二款詞ノ品種ノ種別。變化○第三章人稱。數

す●る●ノ●如●シ●
 名●詞●ノ●複●數●ハ●其●單●數●ニ●。●或●ハ●s●ヲ●附●加●シ●テ●規●則●正●シ●ク●之●
 チ●成●形●シ●得●ベ●シ●
 單●數●ヨ●リ●複●數●ヲ●成●形●ス●ル●事●
 〔第一〕sノ響ト結合スベキ響ヲ以テ終レル單數ノ名詞ニハ
 通常sヲ加ヘテ其複數ヲ作り得ベシ而シテ「シレブル」ノ
 數ハ増加セズ
 〔第二〕然レドモsノ響若シ原詞ノ響ト結合スル能ハサルト
 キハeナル詞尾ニハsヲ加ヘ其他ノ詞尾ニハesヲ加
 フベシ而シテ「シレブル」ハ獨立スルモノナリ
 〔第三〕子字ニ先立タレタルoニ終ル名詞ニハesヲ加フベシ
 而シテ「シレブル」ハ増加セズ此外ノoニ於ケル名詞ニ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第三章 人稱。數

ハ單ニsヲ加フルノミ

〔第四〕子字ニ先立タレタルyニ終レル名詞ハyヲiニ變シ

而シテesヲ加フベシ「シレブル」ハ増加セズ他ノyニ於

ケル名詞ハ獨リsヲ加フルノミ

〔第五〕fニ於ケル左ノ名詞ハ其fヲvニ變シ而シテesヲ加

フベシ(名詞ハ原文ニ讓ル)

〔第六〕f及ヒfeニ於ケル名詞ノ過半ハ正則ニ適合ス(即チs

ヲ加フルコト)

〔第七〕外國ヨリ來レル名詞ノ多クハ其固有ノ複數ヲ占固ス

〔第八〕左ニ掲クルモノハ甚ダ不規則ナリ(詞ハ原文ニ讓ル)而

シテ印章ノ意味ナルDies及ヒ銅錢ノ意義ナルpeniesハ

正則ナリ

〔第九〕或ル者ハ單複兩數ニ於テ變化無シ

〔第十〕主要ナル詞ヲ始メニ於ケル複詞ハ其主要詞ヲ複數ニ

變シ其屬詞ハ之ヲ物主格ニ變スベシ

〔第十一〕fulニ終レル複詞及ヒ主要詞ヲ終ニ於ケル集合詞ハ他

一般ノ名詞ト同一ノ法ニ隨フ

〔第十二〕群衆ノ名詞ガ集合ト見做ル、トキハ複數ノ形ヲ欠ク

然レトモ別々ト見做サル、時ハ其形無クシテ複數意

義ヲ含ムベシ

〔注意〕名詞ニ複數無キモノアリ亦タ單數無キモノアリ

第四章 性及ヒ格

性

性トハ男女兩性ニ關シテ物体ヲ區別スルトコロノ「モディファイ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第四章 性格

ケーション」ナリ
 性ニ三種アリ男性、女性及ヒ無性是レナリ
 男性トハ男種ノ人獸ヲ現ハスモノナリ例ヘハ男、父、王ノ如
 シ
 女性トハ女種ノ人獸ヲ現ハスモノナリ例ヘハ女、母、女王ノ
 如シ
 無性トハ男性ニモアラヌ女性ニモアラザル事物ヲ現ハス
 モノナリ例ヘハ筆、墨、紙ノ如シ
 或ル名詞ハ男女兩性ニ適合シ得ベシ例ヘハ從弟妹、朋友
 隣人、兩親、人民、召使ノ如シ此ノ如キ名詞ハ時トシテ通性
 ト名シ又タ文章ノ連續方ニヨリテ性ヲ定ムルコト往々
 之レアリ

釋

性ヲ區別スルニ左ノ三法アリ
 (第一)異ナリタル名ノ用法
 (第二)異ナリタル詞尾ノ用法
 (第三)區別ノ「アットリピユート」ヲ詞頭ニ置ク事
 [注意]生活無キ物ノ名ハ直接ニ(其儘ニ)用ヰラル、時ハ無
 論常ニ無性ナリ然レトモ無性ノ物モ屢有性トシテ
 顯ハサル、コトアリ
 勢力、高大若シクハ嚴蕭ノ著シキ者ハ之ヲ男性ト爲
 ス例ヘハ太陽、時、死、眠、恐、怒、冬、戰ノ如シ
 美麗、温雅、若シクハ豐饒ナル者ハ女性トシテ之ヲ顯
 ハス例ヘハ月、地球、自然、運命、智、望、春、平和ノ如シ
 格

○第二編 ○第二級詞ノ品種ノ種別。變化 ○第四章 性。格

格トハ名詞ト代名詞トノ交互ノ關係ヲ區別スルトコロノ
 「モヂ、フイ、ケ、ー、シ、ヨ、ン」ナリ
 格ニ三種アリ主格、物主格、及ヒ目的格是レナリ
 主格トハ定動詞ノ文主ヲ顯ハス所ノ名詞或ハ代名詞ノ形
 ナリ例ヘハ「童子が走る」ノ如シ
 物主格トハ持主ノ關係ヲ顯ハス所ノ名詞或ハ代名詞ノ形
 ナリ例ヘハ「私の帽子」ノ如シ
 目的格トハ動詞、分詞、或ハ前置詞ノ目的ヲ顯ハス所ノ名詞
 或ハ代名詞ノ形ナリ例ヘハ「彼の人私が私を知る」ノ如シ
 詞ハ之ヲ組成スルトコロノ文字ヨリ成形セラル、モノナ
 レハ苟モ其文字ニ變化アレハ則チ其詞ニ影響スルモノナ
 リ例ヘハ *boy* 若シハ *fox* ナル詞ヲ複數ニテ顯ハサント欲セ

○第二編 ○第二級詞ノ品種ノ種別。變化 ○第四章 性。格

ハ *boys, foxes* ト爲サ、ルベカラス又チ男性ノ名詞ヲ女性ニ變
 セント欲スル場合ニモ屢、其形狀ヲ變セザルベカラザルガ
 如シ然ルニ英語ノ名詞ハ獨リ其格ニ至テハ物主格ヲ除ク
 ノ外一ノ變化無シ
 名詞ノ物主格ヲ作ルニハ其單數ニハ「アポストルフ」ト稱ス
 ル「」符ニ先立タレタル「s」ヲ主格ニ加ヘ其複數ニハ主格若
 シ「s」ニテ終レハ單ニ「アポストルフ」符ヲ詞尾ニ加フル耳例
 ヘハ *boys* (單數ノ物主格) *boys'* (複數ノ物主格)ノ如シ
 名詞ノ「デ、ン、レ、ン、シ、ヨ、ン」
 名詞或ハ代名詞ノ「デ、ン、レ、ン、シ、ヨ、ン」トハ其數ト格トノ規則
 正シキ排列方ナリ

第

一

例

(朋友ナル名詞ニ就テ)

單	數	複	數
主 格	朋友が又ハ	主 格	朋友等が又ハ
物 主 格	朋友の	物 主 格	朋友等の
目 的 格	朋友に又ハ	目 的 格	朋友等に又ハ

第 二 例 (男ナル名詞ニ就テ)

單	數	複	數
主 格	男が又ハ	主 格	男等が又ハ
物 主 格	男の	物 主 格	男等の
目 的 格	男に又ハ	目 的 格	男等に又ハ

第三例 同 一ニ付キ之ヲ畧ス

分解及ヒ解剖ノ演習

[第一例]

A bad boy took the bird's nest.

(悪シキ) (童子ガ) (取ラシ) (鳥ノ) (巢ヲ)

Aハ不定冠詞ニシテboyナル名詞ノ意味ヲ限ル

Badハ形容詞ニシテboyナル名詞ニ加ヘラル

Boyハ通有名詞、第三人稱(話サレタル人ヲ現ハス故)單

數(唯一人ヲ現ハス故)男性(男ヲ現ハス故)主格 (tookナ

ル動詞ノ文主ナル故)ナリ

Tookハ動作ヲ現ハス所ノ動詞ナリ

Theハ定冠詞ニシテbirdsナル名詞ノ意味ヲ限ル

Birdsハ通有名詞、第三人稱、單數、女性(此所ニハ女性ト

○第二編○第二款詞ノ品類ノ種別。變化○第四章性。格

シテ顯ハサル、故ニシテ物主格(集ノ持主ヲ顯ハス
故ニ)ナリ

Yes、ハ通有名詞、第三人稱、單數、無性、(男性ニモアラサ
レハ亦タ女性ニモアラサル故)ニシテ目的格(tools ナ
ル動詞ノ目的ナル故)ナリ

目的格ノ名詞ハ猶ホ形容詞狀ノ附屬ノ如シ故ニ、ナル前
置詞ト目的格ノ名詞ヲ用キテ單ナル短句ノ形ニ變化セシ
メ得ベシ

第五章 形容詞及ヒ其種類

形容詞ヲ分テ六種類ト爲ス即チ通有、固有、數、代名、分詞狀、及
ヒ複形容詞是レナリ

通有形容詞トハ性質或ハ位置ヲ示スベキ任何普通ノ形容
詞ナリ例ハ原例ノ如シ
固有形容詞トハ固有名詞ヨリ成形セラレタル形容詞ナリ
例ハ原例ノ如シ
數形容詞トハ定數ヲ顯ハスベキ形容詞ナリ例ハ原例ノ
如シ
數形容詞ヲ細別シテ左ノ三種トス
〔第一〕原數形容詞例ハ一、二、三の等ノ如シ
〔第二〕番數形容詞例ハ第一の、第二の等ノ如シ
〔第三〕乘數形容詞例ハ單ある、倍の等ノ如シ
代名形容詞トハ名詞ニ伴ヒ或ハ畧シ得ベキ確實ノ詞ナリ
左ニ掲グル者ハ代名形容詞ノ主要ナルモノ也

○第二編○第二款詞ノ品類ノ種別。變化○第五章形容詞。其種類

○第二編 ○第二狀詞ノ品種ノ種別。變化 ○第六章 形容詞。其「モディフィケーション」

〔原文ニ就テ見ヨ〕

分詞狀形容詞トハ分詞ノ形狀ヲ有スル所ノ形容詞ナリ例
ハハ原例ノ如シ
複形容詞トハ二以上ノ詞ノ集合シテ成レル形容詞ナリ例
ハハ原例ノ如シ

第六章 形容詞及ヒ其「モディフィケーション」

形容詞ニハ一ノ「モディフィケーション」ナシ然レドモ其代リト
シテ比較ノ形アリ
比較トハ異ナリタル度ヲ以テ性質ヲ顯ハスベキ形容詞ノ
變化ナリ例ハ難き、一層難き、最も難きノ如シ
比較ニ三階ノ度アリ定級比較級及ヒ最上級是レナリ
定級トハ形容詞ノ本然ノ形ヲ以テ顯ハサレタル階級ナリ

○第二編 ○第二狀詞ノ品種ノ種別。變化 ○第六章 形容詞。其「モディフィケーション」

例ハ堅き、柔き、善きノ如シ
比較級トハ定級ニ一層超越シタル階級ナリ例ハ一層堅
き、一層柔き、一層善きノ如シ
最上級トハ超越セラレザル階級ナリ例ハ最も堅き、最も
柔き、最も善きノ如シ
形容詞ニシテ其意味ノ比較スベカラザルモノアリ例ハ
二、第二の、惣ての、死すべき、死すべからざる、不定のノ如シ
異味ニ於テ異ナリナガラ形狀ニ於テハ異ナラザル形容詞
ハ副詞ヲ假リテ以テ比較スベシ例ハ熟練の、一層熟練の、
最熟練の、熟練の一層少き熟練の、最も少き熟練の(原文ヲ味
ハシ)ノ如シ
性質ノ優劣モ亦タ Less 及ヒ Least ナル副詞ニ依リ同一ノ方

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第七章 代名詞。其種類

法ヲ以テ比較セラル

一「シレブル」以上ノ形容詞ハ概ネ副詞ヲ假リテ比較セザルベカラズ何トナレハ其等ノ形容詞ハ詞尾ヲ變化スル能ハサレハナリ例ハ原例ノ如シ

形容詞ノ正則ニ比較サル、ハ比較級ニハ^ニヲ加ヘ最上級ニハ^ニヲ加ヘテ以テ比較シ得ベキ場合ナリ例ハ原例ノ如シ

此正則ノ方ハ主ニ一音詞若シクハ^リニ終レルニ音詞ニ適合スルモノトス

左ニ舉グル形容詞ハ不規則ニ比較サル、モノナリ

〔詞之ヲ原文ニ讓ル〕

第七章 代名詞及其種類

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第七章 代名詞。其種類

代名詞ヲ分テ三種ト爲ス人代名詞、關係代名詞及ヒ疑問代名詞是レナリ

人代名詞トハ其形狀ヲ以テ其レガ第何人稱ナルヤヲ顯ハスベキ代名詞ナリ

之ヲ詳言スレハ其詞自己ガ其第一人稱ナルカ第二人稱ナルカ若シクハ第三人稱ナルカヲ顯ハスベキ詞ナリ

單形ノ人代名詞ニ五種アリ即チ第一人稱ノ私、第二人稱ノ汝及ヒ第三人稱ノ彼人、彼女及ヒ其れ是レナリ

複形ノ人代名詞ニ亦タ五種アリ即チ第一人稱ノ私自身、第二人稱ノ汝自身及ヒ第三人稱ノ彼男自身、彼女自身及ヒ其れ自身是レナリ

複形ノ人代名詞ハ動作ガ爲手ノ上ニ返還スルキカ若シ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第七章 代名詞。其種類

クハ語勢ヲ強ナルキニ用ヰラル例ヘハ原例ノ如シ
●關係代名詞トハ先顯ノ詞或ハ短句ヲ表面シ而シテ文章ノ
種々ノ長句ヲ接續スル詞ナリ

關係代名詞ハ who, which, what 及ヒ that ニシテ其複形ノ者ハ whoever
或ハ whosoever, whichever 或ハ whichever 及ヒ whatever 或ハ whatsoever ナリ

what ハ二重ノ關係代名詞ニシテ其れ其れノ及ヒ其れ等其
れノトイフニ均シ故ニ先顯(即チ此所ニ於ケル其れ及ヒ其
れ等ノ如シ)及ヒ關係(即チ此所ニ於ケル其れノ如シ)ノ兩

方ヲ含ムモノト考定セラル

●疑問代名詞トハ以テ疑問スベキ代名詞ナリ

疑問代名詞ハ關係代名詞ト其形全ク同シ

WHO ハ通常獨リ人物ノミニ用ヰラル

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第八章 代名詞。其「モディフィケーション」
「デクレンション」

WHICH ハ以前人物ニモ用ヰラレシガ現今ニ在テハ無言ノ

動物及ヒ無生ノ事物ニ限リ用ヰラル

WHAT ハ唯タノ代名詞トシテ獨リ事物ノミニ用ヰラル

WHAT ハ人物、動物、及ヒ事物ニ一般ニ用ヰラル

WHAT ハ其表明スル所ノ名詞ノ前ニ置カレテ屢冠詞、形容
詞及ヒ關係代名詞ニ均シ例ヘハ吾々が所持せし錢が取去
られし、入込みし人ハ如何なる人でも死す(此所譯文ニ味ナ
シ宜シク原文ヲ見ルベシ)ノ如シ又タ其複形ノ者モ其造構
相均シ

第八章 代名詞、其「モディフィケーション」及ヒ「デクレン

ション」

代名詞ハ名詞ト同一ノ「モディフィケーション」ヲ有ス即チ人稱、

○第二編 第二款 詞ノ品種ノ種別。變化 ○第八章 代名詞。其「モディフィケーション」「デクレンション」

數、性及ヒ格是レナリ

人代名詞ニ於テハ此等ノ性質ノ大半ハ其詞自身ニ依テ顯ハサル

關係代名詞ニ在テハ其先顯ノ詞ニ關係シテ此等ヲ顯ハスモノトス

疑問代名詞ニ在テハ通常其答ニ依リテ此等ヲ顯ハスモノトス

以上ヲ詳説スレハ人代名詞ハ其詞ヲ見テ其性質(即チ人稱、數等)ヲ知ルベシ。關係代名詞ハ其詞ヲ見テ之ヲ知ルコト能ハス其先顯ノ詞ニ關シテ之ヲ知ル(例ヘハ先顯ノ詞ノ人稱ガ第一人稱ナレハ其關係代名詞モ第一人稱ニシテ其數單數ナレハ亦ク單數ナルガ如シ)疑問代名詞ニ在

テハ其答ノ性質ヲ見テ其代名詞ノ性質ヲ知ル例ヘハ誰ガ此れを爲せしぞ答曰シヨン之を爲したりト是ニ於テ誰ガナル疑問代名詞ノ性質ヲ見シハ先ツ其シヨンナル詞ノ性質ヲ見ルベシ即チシヨンハ第三人稱ニシテ男性ナレハ誰ガナル疑問代名詞モ第三人稱ニシテ男性ナルガ如シ

代名詞ノ「デクレンション」

第一人稱ノ私ナリ

單

數

我 格 私ガ(シ)

我 格 私共ガ(シ)

物 主 格 私ノ

物 主 格 私共ノ

田 的 格 私ニ(シ)

田 的 格 私共ニ(シ)

複

數

○第二編 第二款 詞ノ品種ノ種別。變化 ○第八章 代名詞。其「モディフィケーション」「デクレンション」

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第八章代名詞。其「モディフィケーション」ニテクレンション」

自餘ノ表ハ原文ニ就テ見ヨ之ヲ解スル難キニアラザルベシ
注意ニ曰ク表中横線ヲ以テ示シタル場所ハ其欠ヲ顯ハ
スモノト知ルベシ
又タ曰ク複形ノ關係代名詞ニ於テモ其單形ノ者ニ異ナル
コト無シ

分解及ヒ長句

單文ヲ連結スルトキハ複文若シクハ混文ヲ成形ス是ニ於
テカ其單文ヲ長句ト稱ス
故ニ長句トハ複文若シクハ混文ノ部分ナリ
複文若シクハ混文ノ長句ヲ時トシテハ部文ト稱ス
文章ノ主要部分ノ一若シクハ其中ノ任何詞ノ附屬トシテ
用キラレタル長句ヲ附屬長句トイフ

釋

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第八章代名詞。其「モディフィケーション」ニテクレンション」

自カラ依頼シ或ハ自カラ其部分ヲ成形スル所ノ長句ヲ主
要長句トイフ
混文トハ一個ノ主要長句ト一個以上ノ附屬長句トヨリ組
成セラル、モノナリ
文章ニ於ケル複文ノ長句互ヒニ獨立ヲ爲スルハ之ヲ複文
ト名シ
長句ト長句トハ接續詞、關係代名詞若シクハ副詞ニ依リテ
連接セラルモノナリ但シ副詞ノ此場合ヲ接續副詞トイフ
關係代名詞ニ依リテ導カレタル長句ヲ時トシテハ關係長
句ト名シ
關係長句ハ即チ附屬長句ナリ故ニ文章中ニ關係長句ノ
現出スルコトアレハ其文章ハ即チ混文ナリ然レモ關係

○第二編 ○第二款詞ノ品類ノ種別ノ變化 ○第八章 代名詞。其モ「モ」「デ」「ク」「レン」「シヨ」「ン」

長句ハ又々「屢」添加ノ事實ヲ顯ハスコトアルヲ以テ常ニ形容ノ長句トノミ定ムベカラス例ニ依テ之ヲ説明セシムニ此レハ人其人ノ其所爲を行ひし所の人ありトイヘル文章ニ於テ其關係長句ハ人ノ形容ヲ爲セリ然レトモ又「私」ハ「シヨ」「ン」ニ書物ヲ與ヘたり其人ハ其れを失ひたりトイヘル文章ニ在テハ其意味私ガ「シヨ」「ン」ニ書物を與ヘたり而して彼レガ其れを失ひたりトイフニ均シ右ノ兩場合ニ於テ關係長句ハ均シク形容詞ノ如ク用ヰラレタリトイヘドモ右ノ差アリ

附屬ガ其加ヘラル、所ノ詞ノ意味ヲ變スルベク用ヰラル、時ニハ「屢」「モ」「デ」「ク」「シヨ」「ン」ト名ツケラル例ヘハ善良なる武勇、正直なる男、火ガ輝きて燃ゆるノ如シ

分解

〔第一例〕

The messenger who was sent, has returned.

使者其れノ遣ハされしところの使者が歸ヘリシ

〔直譯〕

此レハ説明体ノ混文ナリ

其主要長句ハ「使者が歸ヘリシ」ナリ

其附屬長句ハ「使者」ノ附屬ナル「其れノ遣ハされしところの」ナリ

其接續ノ詞ハ「其れノ何々するところの其れ」ナリ

主要長句ノ主名詞ハ「使者」ナリ

賓動詞ハ「歸ヘリシ」ナリ

○第二編 ○第二款詞ノ品類ノ種別ノ變化 ○第八章 代名詞。其「モ」「デ」「ク」「シヨ」「ン」。

○第二編○第二級詞ノ品種ノ種別。變化○第八章代名詞。其モディフィケーション「デクレンション」

主名詞ノ附屬ハ「The」及ヒ關係長句ナル「其レハ遣ハされ

しどころの」ナリ

文資ニハ一ノ附屬モ無シ

附屬長句ノ文主ハ「其レハ」ナリ

其文資ハ「遣ハされシ」ナリ

右主賓兩ナガテ附屬無シ

第二例及ヒ解剖ノ第一例モ前章既ニ其手引ヲ施セルヲ以テ之ヲ略ス

造構

「句點法」複文ヲ組成スル單ナル長句ハ「カンマ」(,)ニヨリ分

タレサルベカラズ然レドモ其長句ノ部分既ニ「カンマ」ニ

依テ分タレタル場合ニハ「セミコロ」(;)ヲ用フベキ事

○第二編○第二級詞ノ品種ノ種別。變化○第八章代名詞。其モディフィケーション「デクレンション」

關係長句若シ形容附屬トシテ用ヰラル、ニアラズンハ

「カンマ」ニ依テ分タレサルベカラズ

關係長句若シ形容附屬ナル時ハ屢形容詞若シクハ分詞ニ

變化セシメ得ベシ此クシテ成レル文章ハ亦タ單文ト成ル

例ハ「書生其人ハ勉強家であるところの書生ハ抜出るので

あらふ」トイヘル文章ハ「勉強家なる書生ハ抜出るのであらふ」

トイヘル文章ニ變シ得ベキガ如シ

時トシテハ名詞及ヒ形容詞ヨリ成レル短句ハ關係長句ト

先顯詞トニ變シ得ベシ例ハ「彼男其人ハ忠實に働くところ

の彼男ハ成功するであらふ」トイヘルハ「忠實なる勤者ハ

成功するであらふ」トイフニ均シキガ如シ

關係長句カ形容附屬ニアラザルトキハ關係代名詞ノ代リ

○第二編○第二款詞ノ品種ノ種類。變化○第九章動詞ノ品種

ニ接續詞及ヒ人代名詞ヲ用キテ以テ其文章ヲ複文ニ變化セシメ得ベシ例ヘハ「ジョン其人ハ過失を行ふたところのジョンが許されし」トイフヲ「ジョンが過失を行ふたり然れども彼れが許されし」ト變化セシメ得ベキが如シ

第九章 動詞ノ品種

動詞ハ其形狀ニ關シテ之ヲ四種ニ分ツ正則、不規則、中立及ヒ欠動詞是レナリ
正則動詞トハ或ハ或ヲ加ヘテ以テ其過去及ヒ完結分詞成形シ得ベキ動詞ナリ例ヘハ原例ノ如シ

動詞ノ正則不規則ヲ區別スルハ其法、時及ヒ其顯ハス所ノ作動若シクハ有様ノ事情ニ依リテ差異ヲ顯ハス爲ニ動詞ガ變形スル所ノ變化ニ依ル例ヘハ「歩む」ナル動詞ガ

○第二編○第二款詞ノ品種ノ種類。變化○第九章動詞ノ品種

過去ノ作動ヲ示ス時ニハ「歩みし」ト變ス然ルニ分詞ニ在テハ「歩み」若シクハ「歩」ヲ加ヘテ導カレ「歩む」どころで「歩みし」どころで「トナル」が如シ
此ノ如ク動詞ノ原形ヲ變スル爲メニ添ヘテ「タル」シレブル「ト」詞尾ノ變化ト名ク或ル國語ニ於テハ此變化極メテ多シトイヘトモ英國語ニ於テハ甚々僅少ナリ
動詞ノ詞尾變化ニ四種アリ現在、過去、不完結分詞(常ニingニ終ル)及ヒ完結分詞是レナリ凡ヘテ他ノ變化ハ皆此四部分ヨリ分枝スルモノトス故ニ此四部分ヲ先ツ知レハ餘ハ自カラ知リ得ベシ因テ此四部分ヲ主要部分ト名ク
不規則動詞トハ或シクハ或ヲ加ヘテ過去若シクハ完結分詞ヲ成形スル能ハサルモノナリ例ヘハ原例ノ如シ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第九章 動詞ノ品種

中立動詞トハ二三以上ノ仕方ニヨリテ過去或ハ完結分詞ヲ成形スルヲ以テ正則トナルコトアリ或ハ不規則トナルコトアルモノナリ例ハ原例ノ如シ
欠動詞トハ分詞ヲ作ル能ハス且又僅少ノ法及ヒ時ノミニ用キラル、モノナリ即チ原例ノ如シ

正則動詞ハ既ニ述ヘタル如ク、ノ詞尾ニルヲ加ヘ他ノ詞尾ニハルヲ加ヘテ過去及ヒ完結分詞ヲ成形スルモノナリ然ルニ *hear, heard, hearing, heard* ハ、ニルヲ加ヘタルモノナリ故ニ此詞ハ不規則動詞ナリ

動詞ハ其意味ニ關シテ再ヒ之ヲ四種ニ分ツ他動詞、自動詞、受動詞及ヒ中性動詞是レナリ
他動詞トハ人獸事物ヲ其物品トシテ有スル所ノ作動ヲ示

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第九章 動詞ノ品種

スベキ動詞ナリ(一个ノ物品ヲ缺ケハ其意義解シ難キ詞ナリ)即チ原例ノ通り
自動詞トハ一个ノ物品ヲ要セズシテ作動ヲ示スベキ詞ナリ(其動力他ノ物品ニ及達セザル詞)即チ原例ノ如シ
受動詞トハ文主却テ他物ノ作動ヲ受クルトキ其作動ヲ示ス、詞ナリ即チ原例ノ如シ

學者宜シク理解スベシ夫レ受動詞ハ作動ヲ顯ハスベシトイヘトモ其作動タルヲ受取ラレタルモノニシテ決シテ文主ニ依テ爲サレタルモノニアラス是ヲ以テ作動ノ物品ガ動詞ノ文主トナルベシ故ニ他動詞ヲ受動詞ニ變セシムルハ前者ノ物品ヲ以テ後者ノ文主ト爲サ、ルベカラザルナリ

○第二編 ○第二款詞ノ品類ノ種別・變化 ○第十章 動詞ノ「モディフィケーション」

中性動詞(通動)トモ譯ス)トハ作動モ顯ハサ、レハ亦タ被動モ顯ハサス獨リ單ニ有様ヲ顯ハスノミ例ヘハ原例ノ如シ

第十章 動詞ノ「モディフィケーション」

動詞ノ「モディフィケーション」即チ變化ハ左ノ二箇ノ目的ニアリ

〔第一〕有様、作動或ハ被動ノ或ル格段ナル仕方若シクハ時限ヲ顯ハサン爲メ

〔第二〕文主或ハ主格ノ人稱及ヒ數ヲ指シ示サン爲メ
是ヲ以テ動詞ハ四箇ノ「モディフィケーション」ヲ有スルト言フベシ即チ法、時、人稱及ヒ數是レナリ

法

法トハ動詞ノ種々ノ形ニシテ各自各別ニ有様、作動或ハ被

○第二編 ○第二款詞ノ品類ノ種別・變化 ○第十章 動詞ノ「モディフィケーション」

動ヲ顯ハスモノナリ

法ニ五箇アリ不定法、顯示法、可成法、附屬法及ヒ命令法是レ

ナリ

不定法トハ無限ノ方法ニ於テ有様、作動或ハ被動ヲ顯ハシ人稱モ數モ無キ動詞ノ一形ナリ例ヘハ「讀むべく」、「話すべく」ノ如シ(「讀むべく」トイヘハ「讀む」カ「讀みし」カ「讀めよ」カ全ク不定ナレハナリ)

不定法ハ人稱及ヒ數ヲ有セス之ヲ詳言スレハ人稱及ヒ數ヲ示スベキ詞尾變化無シ何トナレハ不定法ニハ主格無ケレハナリ

不定法ハ文主即チ有様若シクハ作動ヲ間接ニ定ムベキ人物若シクハ事物ヲ示スベキ詞ヲ有シ得ベシ然レトモ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十章 動詞ノ「モディフィケーション」

此詞ハ或ル他ノ動詞ニ關シタル目的格ノ者ナラザルベ
カラス例ヘハ「私が書くヘクシヨ」に告げし「ナル文章ニ
於テシヨ」ハ「書く」トイヘル不定法ノ文主ニシテ又「告
ぐる」ナル動詞ノ物品ナリ故ニ目的格ノモノナリトイフ
カ如シ

不定法外ノ動詞ハ其何ノ法ニ屬スルニ拘ハラズ區別ノ爲
メ之ヲ定動詞ト名ク
顯示法(一ニ直説法トイフ)トハ事物ヲ説キ示シ或ハ疑問ス
ベキ動詞ノ一形ナリ例ヘハ「私が書く」汝が知る「何レモ説明
トイヘハ一寸大層ニ聞ユレト事實ヲ顯ハシ示シタルモノ
ナリ」汝が知るか」ノ如シ
可成法トハ有様、作動若シクハ被動ノ勢力、自由、出來可キ事

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十章 動詞ノ「モディフィケーション」

若シクハ要用ヲ顯ハストコロノ動詞ノ一形ナリ例ヘハ「私
ハ讀み能ふ」吾々共は行かざればあらむ」ノ如シ
附屬法トハ有様、動作、或ハ被動ヲ結定、含疑及ヒ非常トシテ
顯ハス所ノ動詞ノ一形ナリ例ヘハ原例ノ如シ
命令法トハ命令、諫戒、請求若シクハ允許ニ於テ用ヰラレタ
ル動詞ノ一形ナリ例ヘハ原例ノ如シ

時

時トハ時限ヲ區別スル爲メニ設ケラレタル動詞ノ「モディフィ
ケーション」ナリ
時ニ六種アリ現在、不完過去、完結過去、大過去、第一未來及ヒ
第二未來是レナリ
現在トハ現ニ成レルカ若シクハ將ニ成ラントスルトコロ

○第二編○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十章 動詞ノ「モディフィケーション」

ノモノヲ顯ハスベキ時限ナリ例へハ「私が人聲を聞く」誰か
 来りつゝある」如シ
 不完過去トハ成功セシモノカ或ハ起リツ、アリシ所ノ者
 ヲ顯ハスベキ時限ナリ例へハ「私の昨日彼男を見受けたり」
 「彼男は外出散歩しつゝありし」ノ如シ
 完結過去トハ未タ十分ニ過ギ去ラザル既往ノ中ニ起リシ
 所ノ者ヲ顯ハスベキ時限ナリ例へハ「私の今日彼男を見受
 けた」ノ如シ
 大過去トハ既ニ記サレタル時ヨリ尙ホ先キニ起リシ所ノ
 者ヲ顯ハスベキ時限ナリ例へハ「私が汝に出逢ひし時に
 私ノ既に彼男を見たり」私が汝に出逢ひし」ハ既ニ今日ヨリ
 以前ノ事而シテ「私の既に彼男を見たり」ハ尙ホ一層以前ノ

事此クノ如ク過去ノ二重ニナリシトキ其以前ノ者ヲ顯ハ
 ス之ハ大過去トイフノ如シ
 第一未來トハ今後當ニ起ルベキ所ノ者ヲ顯ハス時限ナリ
 例へハ「余ノ再び彼男に逢はなければならぬ」ノ如シ
 第二未來トハ既ニ記サレタル或ル未來ヨリ一層後ニ起ル
 ベキトコロノ者ヲ顯ハス時限ナリ例へハ「余ノ明日の正午
 頃に彼男を見たでもあらふ」明日ノ正午ハ一個ノ未來ナリ
 彼男ヲ見る云々ハ一層ノ未來ナリノ如シ
 此一章ハ到底翻譯十分ナラズ學者原文ヲ解スルノ日ニ
 アラズンハ眞味ヲ知ルベカラズ學者其レ之ヲ諒セヨ
 時ノ區別ハ左ノ二個ノ事情ニ基ク
 「第一」時カ現在カ過去カ若シクハ未來カ

○第二編○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十章 動詞ノ「モディフィケーション」

○第二編○第二款詞ノ品種ノ種別。變化○第十章動詞ノ「モディフィケーション」

〔第二〕作動ガ充分カ不充分カ
故ニ此二倍ノ區別ヲ顯ハサニハ六個ノ時無カルベカ
ラス

〔第一〕不完結或ハ不定現在

即チ現在

〔第二〕不完結或ハ不定過去

即チ不完結過去

〔第三〕不完結或ハ不定未來

即チ第一未來

〔第四〕完結現在

即チ完結過去

〔第五〕完結過去

即チ大過去

〔第六〕完結未來

即チ第二未來

詞尾變化

動詞ニ二個ノ數ト三個ノ人稱トアレハ其文主ト一致セン
ニハ必スヤ六個ノ詞尾變化ナカルベカラズ然レトモ既ニ
述ヘシ如シ英語ニ於テ用ヰル所ノ詞尾變化ハ甚タ僅少ナ
リ例ヘハ顯示法現在ニ於ケル Love 及ヒ Go ナル動詞ヲ變化セ
シムルトキハ唯タ次ノ形ヲ有スルノミ

單數

複數

第一人稱

Love (愛する)

Love (愛する)

第二人稱

lovest (愛する)

love (愛する)

○第二編○第二款詞ノ品種ノ種別。變化○第十章動詞ノ「モディフィケーション」

○第二編 ○第二級ノ品類ノ種別。變化 ○第十章 動詞ノ「モディフィケーション」

第三人稱

loves

(愛する)

love

(愛する)

右ノ如ク人稱ニ隨テ詞尾變化ヲ生ス然レトモ意義ニ於
テハ皆同一ナリ

Sノ變化畧ス推知セヨ

右ノ變化ヲ檢スレハ唯々單數ノ部ニ二個ノ變化アルヲ見
ルノミ即チ詞尾ニ加フベキモノハ第二人稱ニハs或ハest
第三人稱ニハo或ハosナリ而シテ第一人稱ノ單數及ヒ複
數ノ物人稱共ニ同一ナリ
第三人稱ノ單數ハ昔時s或ハesヲ以テ成形セリトイヘト
モ此變化ハ現今ニ在テハ唯々敬神体ノ詞ニ存スルノミ
動詞ニ加フベキ正則ノ詞尾ハing, s若シクハed, st若シク
ハest, s若シクハs及ヒes若シクハethナリ

○第二編 ○第二級ノ品類ノ種別。變化 ○第十一章 動詞ノ「コンジュグトション」

ing及ヒes若シクハethハdoth, hath, saithナル詞ノ場合ヲ除ク
ノ外常ニ「シレブル」ヲ新造スルモノト知ルベシ
其他ノ者ハ其響ガ動詞ノ詞尾ノ「シレブル」ト結合スル時
ニ「シレブル」ヲ新造セズシテ詞尾ニ加ヘラル然ラサレハ
別々ニ發音セラル、ナリ

第十一章

動詞ノ「コンジュグトション」

動詞ノ「コンジュグトション」トハ其法、時、人稱、數及分詞ノ規
則正シキ排列方ナリ
各單ニシテ且ツ完全ナル動詞ノ排列方ニ四種ノ主要部分
アリ即チ現在、過去、不完結分詞及ヒ完結分詞是レナリ
此等ノ主要部分ノ何レカチ缺クモノヲ缺動詞ト名ク
助動詞トハ他ノ動詞ノ主要部分ノ一ニ加冠シテ有様、作動

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十一章 助詞ノ「コンジュゲーション」

或ハ被動ノ格段ナル法、及ヒ時ヲ顯ハスベキ短動詞ナリ
助動詞ハ *do, be, have, shall, will, may, can* 及ヒ *must* 并ニ其ヨリ起ル
所ノ種々ノ形ナリ

〔注意〕助動詞ノ或ル者殊ニ *do, be* 及ヒ *have* ハ主動詞トシテ
用ヰラル、コト之レアリ

排列サレタル動詞

自動性或ハ中性ノ短キ形

英語ニ於ケル排列方ノ最短ナル形ハ助動詞ヲ用ヰズシテ
現在及ヒ不完結過去ヲ成形スベキ所ノ者ナリ然レトモ尙
ホ可成法ニ於テハ助動詞ヲ要シ又々屢顯示法ニ於テモ之
ヲ要スルコトアリ

愛するナル動詞ノ排列方

主要部分

現在 愛する

過去 愛せし

不完結分詞 愛するところ

完結分詞 愛したところで

不定法

現在 愛するべく

過去 愛したるべく

顯示法 現在

單數

第一人稱 私が愛する

第二人稱 汝が愛する

複數

私共が愛する

汝等が愛する

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十一章 助詞ノ「コンジュゲーション」

○第二編○第二級詞ノ品種ノ種別。變化○第十一章動詞ノ「コンジュゲーション」

第三人稱 彼人が愛する 彼人等が愛する

此時ハ各ナル助動詞ヲ加フルモ亦タ成形シ得ヘシ即チ

左ノ如シ

單數

複數

第一人稱 私が愛しなす 吾々が愛しなす

第二人稱 汝が愛しなす 汝等が愛しなす

第三人稱 彼人が愛しなす 彼等が愛しなす

不完結過去

此時ハ其單ナル形ニ於テ過去ナリ惣ベテノ正則動詞ハ其現在ニシテ若シハ是ヲ加ヘテ作り得ベシ然レドモ他ノ物ハ種々ニ成形ス

單數

複數

○第二編○第二級詞ノ品種ノ種別。變化○第十一章動詞ノ「コンジュゲーション」

第一人稱 私が愛せし 吾等が愛せし

第二人稱 汝が愛せし 汝等が愛せし

第三人稱 彼が愛せし 彼等が愛せし

此時モ亦タ現在ニシテナル助動詞ヲ加ヘテ作り得ベシ即チ左ノ如シ

單數

複數

第一人稱 吾が愛しなせし 吾等が愛しなせし

第二人稱 汝が愛しなせし 汝等が愛しなせし

第三人稱 彼が愛しなせし 彼等が愛しなせし

完結過去

此時ハ完結分詞ニHaveナル助動詞ヲ加ヘテ作り得ベシ即チ左ノ如シ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十一章 助詞ノ「コンジュゲーション」

	單數	複數
第一人稱	余が愛した	余等が愛した
第二人稱	汝が愛した	汝等が愛した
第三人稱	彼が愛した	彼等が愛した

大過去

此時ハ完結分詞ニhadナル助動詞ヲ加ヘテ作り得ベシ即
テ左ノ如シ

	單數	複數
第一人稱	我が愛したりし	我等が愛したりし
第二人稱	汝が愛したりし	汝等が愛したりし
第三人稱	彼が愛したりし	彼等が愛したりし
第一未來		

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十一章 助詞ノ「コンジュゲーション」

此時ハ現在ニshall或ハwillナル助動詞ヲ加ヘテ作り得ベシ即テ左ノ如シ

	單數	複數
第一人稱	私が愛するであらふ	私共が愛するであらふ
第二人稱	汝が愛するであらふ	汝等が愛するであらふ
第三人稱	彼が愛するであらふ	彼等が愛するであらふ

約束

單數

複數

	單數	複數
第一人稱	私が愛せねむならぬ	私共が愛せねむならぬ
第二人稱	汝が愛せねむならぬ	汝等が愛せねむならぬ
第三人稱	彼が愛せねむならぬ	彼等が愛せねむならぬ
第二未來		

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十一章 助詞ノ「コンジュゲーション」

此時ハ完結分詞ニ shall have 或ハ will have ナル助動詞ヲ加ヘテ作り得ベシ即チ左ノ如シ

單數

複數

第一人稱 私が愛したであらふ 私共が愛したであらふ
 第二人稱 汝が愛したであらふ 汝等が愛したであらふ
 第三人稱 彼が愛したであらふ 彼等が愛したであらふ

可成法 現在

此時ハ根動詞ニ may, can 或ハ must ナル助動詞ヲ加ヘテ作ルベシ〔變化表原本ニ讓ル〕

不完結過去

此時ハ根動詞ニ might, could, would 或ハ should ナル助動詞ヲ加フ〔變化表原本ニ讓ル〕

完結過去

此時ハ完結分詞ニ may have, can have 或ハ must have ナル助動詞ヲ加フ〔變化表原本ニ讓ル〕

大過去

此時ハ完結分詞ニ might have, could have, would have 或ハ should have ナル助動詞ヲ加フ〔變化表原本ニ讓ル〕

附屬法 現在

此時ハ通常未來ノ作動或ハ出來事ヲ豫定スル所ノ或ル有様ヲ顯ハスニ用ヰラル〔變化表原本ニ讓ル〕

不完結過去

此時并ニ其屢結合セラル、可成法ノ不完結過去ハ過去、現在及ヒ未來ニ關係セル不定ノ時ナリ〔變化表原本ニ讓

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十一章 助詞ノ「コンジュゲーション」

○第二編 ○第二款詞ノ品類ノ種別。變化 ○第十一章 動詞ノ「コンジュゲーション」

ル]

命令法 現在 [變化表原本ニ讓ル]

分詞 [變化表原本ニ讓ル]

第一例ノ [譯解必要ナラズ原文ヲ見ヨ]

SEE ノ變化

BE ノ變化

READ ノ複形

BE LOVED ナル受性ノ變化

右何レモ前掲 LOVEノ變化ヨリ類推スレハ之ヲ解スルコト難カラザルベシ獨リ動詞ノ正則不規則及ヒ自働受働ノ差違ニ注目スベシ而シテ動詞ノ變化ハ文法中最モ緊要ノ者ナレハ學者宜シク暗記スベキナリ

打消ノ形

動詞ヲ打消狀ニ變化セシムルハ助詞ヲ其詞後若シクハ最初ノ助動詞ノ後ニ置クベシ然レドモ不定法及ヒ分詞ニ在テハ之ヲ最初ニ置クベシ(原文ノ例ニ就テ見ヨ)

疑問ノ形

顯示法及ヒ可成法ニ於テ動詞ヲ疑問狀ニ變化セシムルハ主格ヲ其詞ノ後若シクハ最初ノ助動詞ノ後ニ置クベシ(原文ノ例ニ就テ見ヨ)

打消ヲ含ム疑問ノ形

顯示法及ヒ可成法ニ於テ動詞ヲ打消兼疑問ノ形ニ變化セシムルハ主格及ヒ助詞ヲ動詞ノ後若シクハ最初ノ助動詞ノ後ニ置クベシ(原文ノ例ニ就テ見ヨ)

○第二編 ○第二款詞ノ品類ノ種別。變化 ○第十一章 動詞ノ「コンジュゲーション」

○第二編○第二款詞ノ品種ノ種別。變化○第十一章 助詞ノ「コンジュゲーション」

不規則動詞ノ表

(原本ニ讓ル)

中立動詞

次ニ掲ケタル中立動詞ノ表ハ其通常用ヰラル、モノ及ヒ
文法上ニ關セス、用ヰラレ得ベキモノヲ列舉シタル者ナリ
但シ其第一行ニ在ルモノハ其最モ尙取スベキモノナリ

中立動詞ノ表

(原本ニ讓ル)

缺動詞

動詞ノ時ハ元來其主要部分ヨリ導カレタルモノナレハ動
詞ニシテ若シ其部分ノ何レカチ缺ク者ハ無論亦タ其時ノ
何レカチ缺クナリ
So, have 及ヒ Be ヲ除ケル他一般ノ助動詞ハ缺動詞ナリ然レ
トモ此等ハ他ノ動詞ノ部分トナルコトアルヲ以テ其缺ク

○第二編○第二款詞ノ品種ノ種別。變化○第十二章 分詞ノ品種

トコロノ部分ヲ要セザルナリ
次ノ表ハ一般ノ缺動詞ヲ含メリ獨リ漏レタルモノハ *methinks*
ト其過去ナル *methought* ナリ此詞ハ無人稱且ツ不規則ニシテ
it thinks me 即チ *it seems to me* (私ニハ左様思ハれる)ニ均シ而シテ
無人稱ノ動詞ハ獨リ第三人稱ニ用ヰラル、ノミ
缺動詞ノ表
(原本ニ讓ル)

第十二章 分詞ノ品種

英語ノ動詞ニ三種ノ分詞アリ不完結分詞、完結分詞及ヒ大
過去分詞是レナリ
不完結分詞トハ有様、作動或ハ被動ノ連續方ヲ含ム所ノ者
ナリ例ヘハ「愛しつゝ」(作動)「愛されつゝ」(被動)ノ如シ
完結分詞トハ有様、自動或ハ受動ノ完結ヲ含ム所ノ者ナリ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別・變化 ○第十二章 分詞ノ品種

例へハ「愛されて」(受動)ノ如シ
大過去分詞トハ有様、自動或ハ受動ノ豫定完結ヲ含ム所ノ者ナリ例へハ「愛したところ」で「自動」愛されたところで「受動」ノ如シ

自動性ノ不完結分詞ハ常ニ根動詞ニ *ing* ナ加へテ成形スベシ例へハ原例ノ如シ
受動性ノ不完結分詞ハ完結分詞ニ *being* ナ加へテ成形スベシ例へハ原例ノ如シ
完結分詞ハ根動詞ニ *ed* 若シハ *en* ナ加へテ成形スルナリ而シテ獨立シテ用ヰラル、時ハ常ニ受動性ノ意義ヲ有スルナリ

不規則動詞ノ完結分詞ハ原本七十九丁ヨリ八十三丁迄

釋が

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別・變化 ○第十二章 分詞ノ品種

ノ間ニ在リ就テ見ヨ
自動性ノ大過去分詞ハ完結分詞ニ *having* ナ加へテ受動性ノ者ニハ *having been* ナ加へテ成形スルナリ例へハ「書いたところ」で「書かれたところ」で」ノ如シ
此クノ如ク實際自動性ノ動詞ハ二種ノ分詞ヲ有シ(不完結及ヒ完結)其受動性ノ者ハ三種(不完結、完結及ヒ大過去)ヲ有スルナリ
分詞ヲ再ヒ細分シテ二種ト爲ス其一ハ動詞及ヒ形容詞ノ兩性ヲ分領スルモノ其二ハ動詞及ヒ名詞ノ兩性ヲ分取スルモノ是ナリ但シ第二ノ者ヲ時トシテハ名詞狀分詞ト名ツク
次ニ掲グルモノハ兩種ノ例ナリ

○第二編 ○第二款 詞ノ品種ノ種別・變化 ○第十二章 分詞ノ品種

第一種 動詞及ヒ形容詞

彼人が甚た速く走りつゝ來りし
彼女が死ぬところ、で其れを私に與へし
敵が戦場で破られたところ、で
彼女が兩手を廻轉しつゝ、直立せし

第二種 動詞及ヒ名詞

彼女が善き本を讀む事に就て好んである
錢を拂た後に、彼人の退きし
彼人の價金を拂ふ事なしに放たれたり
神の命令を遵奉する事に於て大なる賞與あり
府を退く事の前に彼れが

〔注意〕第二種ノ分詞ノ使用方ハ或ル文法家ノ非難ヲ免カ

○第二編 ○第二款 詞ノ品種ノ種別・變化 ○第十二章 分詞ノ品種

レストイヘトモ能キ使用方ニヨリテハ許サルベク見ユ
ルナリ

鹿を狩る事の善き處なり(文主)

私の左様なる注意を爲す所の汝に對して驚く(物主格ヲ
支配ス)

埠頭に於て吾々の到着に於て萬事が混雜でありき

右ノ例ハ左ト比較セヨ

埠頭に於て到着する事に於て我々が萬事を混雜に見出
せり

前ノ例ニ於テハ「我々」ナル詞ノ挿入ハ「萬事」ナル詞ニ迄
テノ分詞ノ關係ヲ避ケルベク要セラル然ルニ後ノ例
ニ於テハ分詞ガ適當ニ「吾々」ナル詞ニ關係スルヲ以テ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十三章 副詞ノ品種

之ヲ要セズ

第十三章 副詞ノ品種

副詞ハ通常之ヲ四種ニ區括シ得ベシ即チ時刻、位置、分量及ヒ状態ノ副詞是ナリ

時刻副詞トハ何時、如何ニ長ク、如何ニ速ク如何ニ屢ナル間

ニ答ヘ得ベキ所ノ詞并ニ此等ノ疑問ノ詞ナリ

時刻副詞ハ左ノ如ク細分シ得ベシ

〔第一〕現然副詞例ハ今、尙ほ、今日、直に(現に)ノ如シ

〔第二〕既然副詞例ハ既に、過日、従前、以來、以前ノ如シ

〔第三〕未然副詞例ハ明日、今後、以後ノ如シ

〔第四〕關係副詞例ハ何々する時に、然る時に、前に、後に、然るにノ如シ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十三章 副詞ノ品種

〔第五〕無限副詞例ハ常に、嘗て、決してノ如シ

〔第六〕反復副詞例ハ屢、稀れに、日々に、三回ノ如シ

〔第七〕順序副詞例ハ第一に、第二に、第三に等ノ如シ

位置副詞トハ何所に、何處へ、何所より及ヒ何邊にナル疑問

ニ答フベキ詞併ニ此等ノ疑問ノ詞ナリ

位置副詞ハ左ノ如ク細分シ得ベシ

〔第一〕場所其レニ於テノ副詞例ハ何所に、此所に、其所に、

何所かにノ如シ

〔第二〕場所其レニ迄テノ副詞例ハ何處へ、此處へ、何處に

ノ如シ

〔第三〕場所其レカラノ副詞例ハ其處から、其れから、彼處

よりノ如シ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十三章 副詞ノ品種

〔第四〕場所ノ順序ノ副詞例へハ 第一に、第二に、第三にノ如シ

分量副詞トハ如何に多く、如何に少く或ハ此ノ如ク多少ノ意ヲ含メル問ニ答へ得ベキ詞ナリ
分量副詞ハ左ノ如ク細分シ得ベシ

〔第一〕過多或ハ許多ノ副詞例へハ 多く、主に、充分にノ如シ

〔第二〕均同ノ副詞例へハ 十分に、均しく、左様に、如くノ如シ

〔第三〕少量ノ副詞例へハ 少しく、僅かに、辛ふじてノ如シ

〔第四〕量副詞例へハ 如何程、常に、左様に、稍ノ如シ

状態副詞トハ如何にナル問ニ答フベキ詞若シハ 決定、拒絶或ハ推測ヲ以テ文主が如何ニ拘ハラル、カチ顯ハスベキ詞ナリ

状態副詞ハ左ノ如ク枝分シ得ベシ

〔第一〕性質副詞例へハ 能く、悪しく、賢しく、馬鹿らしく、正しく及ヒ性質形容詞ニシテ加へテ成形スル副詞皆之ニ屬ス

〔第二〕決定副詞例へハ 真に、誠に、實に、確にノ如シ

〔第三〕打消副詞例へハ 否、絶無ノ如シ

〔第四〕推量副詞例へハ 恐らく、幸に、能ふべく、多分ノ如シ

〔第五〕解説副詞例へハ 箇様に、左様に、何分、如く、外、然らされ
ハノ如シ

〔第六〕原因副詞例へハ 何故に、是故に、其故にノ如シ
〔注意〕*here, there* 及ヒ *where* ナル副詞若シ前置詞ニ加ヘラル、

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別。變化 ○第十三章 副詞ノ品種

○第二編 ○第二款詞ノ品類ノ種別。變化 ○第十三章 副詞ノ品類

時ハ代名詞ノ力ヲ備ヘ得ベシ例ハ *whereby* ハ其れに依りてナル意味トシテ用ヰラル、ガ如シ然レトモ此種類ノ複形ノモノハ通例矢張副詞ト認定セラル、ナリ
副詞ハ時トシテハ接續詞ノ役目ヲ爲シ文章ノ長句ヲ接續シ并ニ時刻、位置、分量或ハ状態ノ或ル事情ヲ顯ハスベシ此ノ如クニ用ヰラレタル副詞ヲ接續副詞トイフ例ハ時に、其所に、後に、前に、以來等ノ如シ

「モディフィケーション」

副詞ニハ一ノ「モディフィケーション」無シ唯タ形容詞ノ仕方ニナラヒテ比較セラル、モノ少シクアルノミ例ハ原例ノ如シ

左ニ掲クルモノハ不規則ニ比較サル [表畧ス]

釋

性質副詞ノ最多部分ハ其前ニ比較副詞ナル *more, most* 及ヒ *less, least* ヲ冠シ得ベシ例ハ原例ノ如シ

第十四章 接續詞ノ品類

接續詞ハ通常之ヲ二種ニ分ツ聯合、分離是レナリ此二種中ノ或ルモノニシテ對接續詞ト稱スルモノアリ
聯合接續詞トハ聯合、原因若シクハ想像ヲ顯ハスベキ接續詞ナリ例ハ彼と我との事を争ひは何となれば何事に限らば彼若し好む所あらば我直に之を承諾すればなり
分離接續詞トハ意義ノ分離ヲ顯ハスベキ接續詞ナリ例ハ惡に打勝たる、勿れ其代りに(併し)善を以て害を壓倒せよノ如シ
對接續詞トハ一對ニ於テ用ヰラル、所ノ接續詞ニシテ互

○第二編 ○第二款詞ノ品類ノ種別。變化 ○第十四章 接續詞ノ品類

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別・變化 ○第十四章 接續詞ノ品種

ニ關係ヲ有スルモノナリ例へハシヨンの食ひもしなければ
亦た飲みもしないで來りし(原例接續詞ノ用方ヲ味へ)ノ如シ
次ニ舉グルモノハ接續詞ノ主要ナルモノナリ「表畧ス原本
ニ就テ見ヨ」

分解

複文主及ヒ複文賓

二三以上ノ文主及ヒ文賓ガ接續詞ニ依テ連接セラル、時
ハ所謂複文主及ヒ複文賓ヲ成形スルナリ例へハ馬及び駱
駝ガ飛きてリーシテ連れ亡せたりノ如シ

〔分解ノ例〕

Temperance and exercise strengthen the body, and improve the mind.
(節制) (及ビ) (運動ハ) (強健ニシ) (肉体ヲ) (且ツ) (發達サセル) (精進ヲ)

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別・變化 ○第十五章 前置詞

此レハ説明体ノ單文ナリ
文主ハ複形ニシテ temperance 及ヒ exercise ヨリ成リ and ニ依
テ接續セラル
文賓モ亦タ複形ニシテ strengthen the body 及ヒ improve the mind ニ
成ル

第一ノ賓動詞ハ strengthen ニシテ物品ハ the ナル附屬ヲ有
スル所ノ body ナリ
第二ノ賓動詞ハ improve ニシテ其物品ハ the ナル附屬ヲ
有スル所ノ mind ナリ

第十五章 前置詞

前置詞ハ文章ノ主要部分ニモ成ル能ハサレハ亦タ其附屬
ニモ成ル能ハズ唯タ單ニ關係ヲ顯ハスベキ詞トシテ用井

ラル、ノミ

前置詞ハ附屬トシテ一般ニ用キラレタル短句ヲ導クモノナリ例ヘハ *A man of honesty* (正直の人) トイフハ *An honest man* (正直なる人) トイフニ均シ又々 *He went to school* ナル文章ニ於テ *to school* ナル短句ハ「何所へ」ナル問ノ答トナル故ニ位置副詞ニ均シ又々 *Good for food* ナル文章ニ於テ *for food* ナル短句ハ *good* ナル形容詞ノ意味ヲ限ルナリ

此ノ如キ短句ハ通常前置短句ト名ケラル

前置詞ニ伴フ所ノ名詞或ハ代名詞ヲ其物品ト名ク而シテ前置詞ハ常ニ其物品ト前置短句ヲ附屬トスル所ノ詞トノ關係ヲ顯ハスナリ例ヘハ前例中ノ *of a man* ト *honesty* トノ間ノ關係ヲ顯ハシ *to* ト *went* ト *school* トノ關係又々 *for* ト *good* ト *food*

トノ關係ヲ顯ハスガ如シ
次ニ列舉シタルモノハ主要ナル單形ノ前置詞ナリ(表畧ス
原本ニ就テ見ヨ)

前表ニ於ケル詞ハ通常前置詞ナリトイヘトモ若シ關係
ノ次ノ詞無クシテ用キラル、トキハ副詞トナルナリ例
ヘハ *for* ガ *because* (何とされバ) ナル意味ヲ顯ハス時ニハ接
續詞トナリ *without* ガ *unless* (何々するにわらずんバ) トシテ
用キラル時及ヒ *notwithstanding* (にも拘はらず) ガ主格ノ前ニ
置カル、時ニハ通常亦々接續詞ノ品種ニ關係スルナ
リ
二三以上ノ詞ガ屢々連結シテ單ナル意味ヲ顯ハスコトア
リ之ヲ複形ノ前置詞トイフ次ニ舉ケタル者ハ其例ナリ

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別・變化 ○第十六章 間投詞

〔表略ス原本ニ就テ見ヨ〕

第十六章 間投詞

間投詞ハ文章中ノ如何ナル詞ニモ關係ヲ有セズ又々無論其附屬ニモナラザレバ主要部分ニモナルコト無シ唯々全ク獨立ノ詞ナリ故ニ此所ヲ以テ推ス時ハ間投詞ハ話ノ部分即チ文章ノ部分ニアラスト認定スベキナリ

間投詞ノ有無ニ拘ハラズ名詞或ハ代名詞ハ屢々獨立ナルコトアリ之ヲ評言スレハ動詞分詞或ハ前置詞ノ文主ニモアラズ亦々文賓ニモアラズ

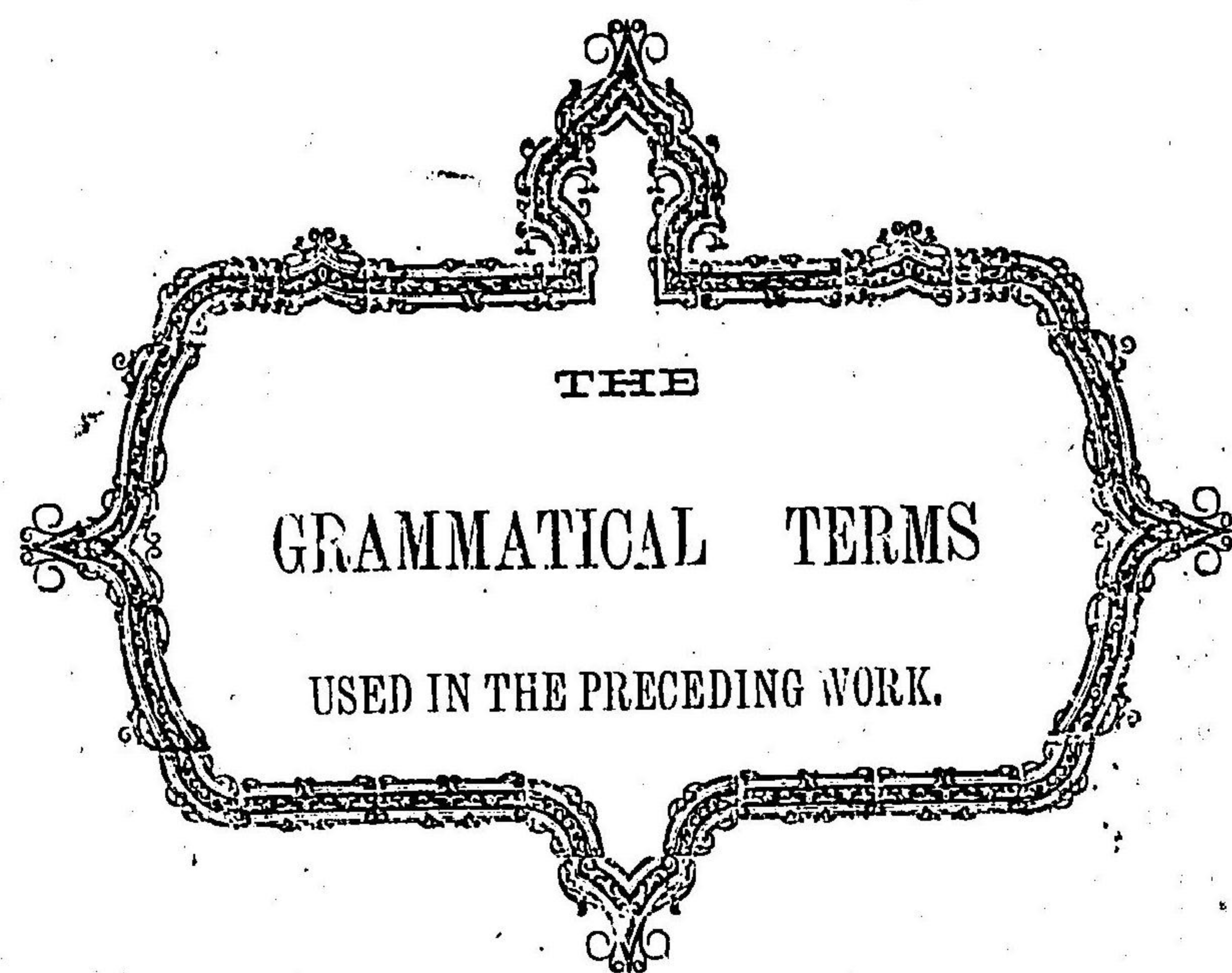
代名詞ニシテ此ノ如ク用ヰラレタルモノハ主格ノ形ヲ有セサルベカラズ例ヘハ「オ」汝天地を支配するところの神」ノ如シ

釋七

文法 詳解 ブラウン氏小文典釋義 畢

○第二編 ○第二款詞ノ品種ノ種別・變化 ○第十六章 間投詞

左ニ掲ケタルモノハ主要ナル間投詞ニシテ其示ス可キ各異ノ感動ニ隨テ各別ニ排列セリ
第一 歡喜 第二 悲哀 第三 驚歎 第四 希望 或ハ熱望 第五 悲痛 第六 侮慢 第七 賤惡 第八 高呼 第九 大悅 第十 發笑 第十一 祝賀 第十二 注意 第十三 鎮止 第十四 驚愕 第十五 倦怠 第十六 招呼
間投詞ニハ意義無シ唯々原音ヲ通融シテ可ナリ故ニ詞例ハ之ヲ原本ニ讓ル



THE
GRAMMATICAL TERMS
USED IN THE PRECEDING WORK.

Emotion	感 動	Etymology	詞 論
Action	作 動	Parts of speech	詞ノ品種
Quality	性 質	Subject	文 主
Parsing	解 剖	Predicate	文 賓
Analysis	分 解	Declarative	說 明 體
Proposition	文 章	Interrogative	疑 問 體
Phrase	短 句	Imperative	命 令 體
Composition	作 文	Exclamately	感 嘆 體
Punctuation	句 點 法	Noun	名 詞
(自三十九葉至九十五葉)			
Modifications	變 化	Pronoun	代 名 詞
Definite article	定 冠 詞	Verve	動 詞
Indefinite "	不定冠詞	Article	冠 詞
Proper noun	固有名詞	Adjective	形 容 詞
Common "	通有名詞	Adjuncts	附 屬 詞
Collective "	集合名詞	Participle	分 詞
Abstract "	拔萃名詞	Adverb	副 詞
Verbal "	動詞狀名詞	Time	時 限
Participial "	分詞狀名詞	Place	位 置
Persons	人 稱	Degree	分 量
Numbers	數	Manner	狀 態
First person	第一人稱	Conjunction	接 續 詞
Second "	第二人稱	Construction	造 構
Third "	第三人稱	Preposition	前 置 詞
Singular number	單 數	Relation	關 係
		Interjection	間 撥 詞

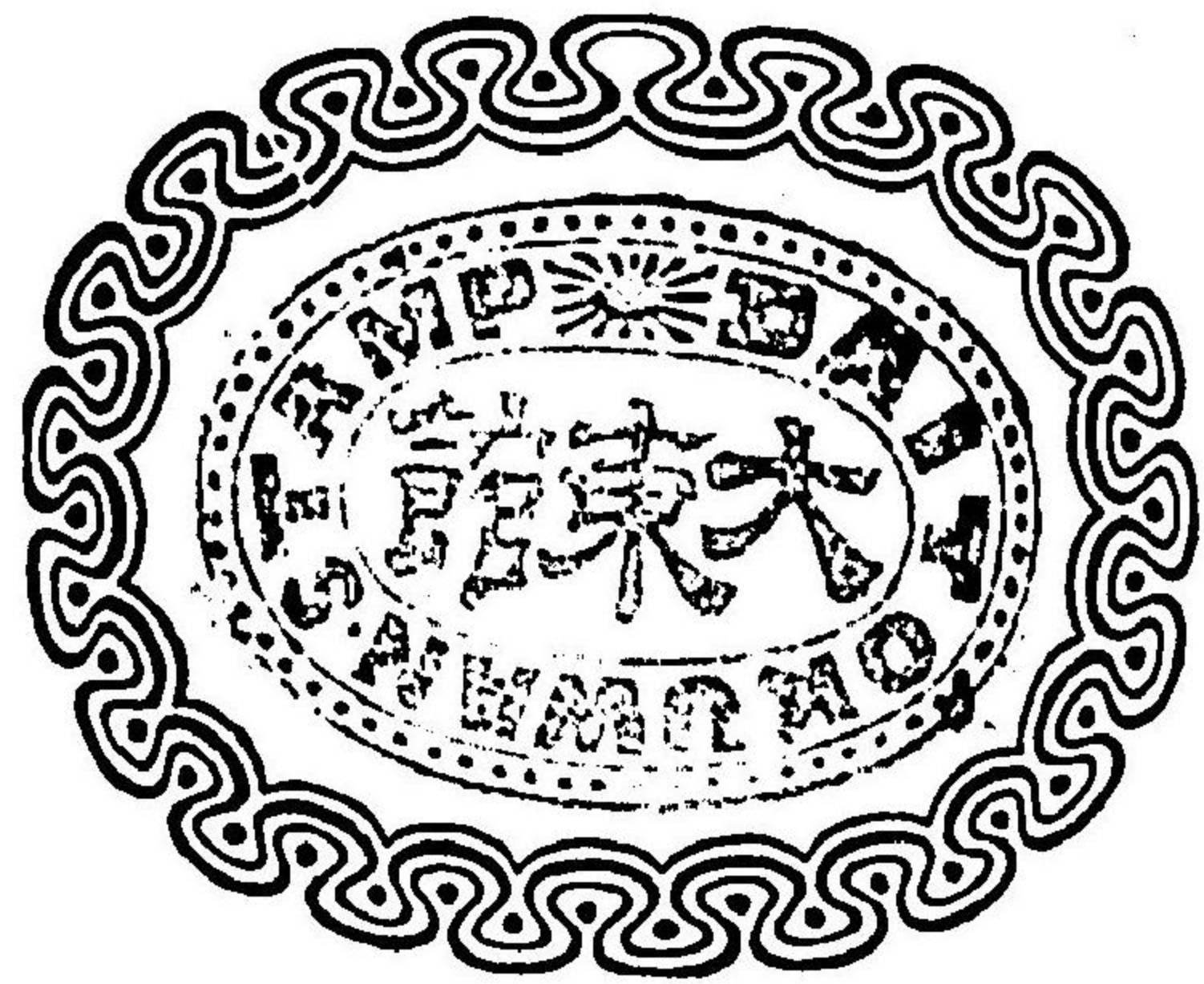
Triphthong	三重母字	(自七葉至十八葉)	
Proper diphthong	適當二重母字	Orthography	字 論
" triphthong	適當三重母字	Language	字 國 語
Improper diphthong	不適當二重母字	thoughts	思 想 話
" triphthong	不適當三重母字	Speaking	說 筆 話 記
Simple word	單 詞	Writing	文 法 念 字
Compound word	複 詞	Words	詞 文 看 文 字 句 音 字
Primitive word	原 詞	Grammar	文 法 念 字
Derivative word	枝 詞	Ideas	看 文 字 句 音 字
Radical word	根 詞	Letters	文 字 句 音 字
Spelling	綴 詞	Syllables	字 句 音 字
Final	詞 尾	Capitals	字 句 音 字
Sentence	文 章	Small letters	小 字 字
Clause	長 句	Roman letters	羅 馬 字
Personified	人 = 形取 <small>ヲレタル</small>	Italics	伊 太 利 字
Derived	導 <small>カレタル</small>	Script	筆 記 體 說
Poetry	詩	Definitions	界 說 母
Verse	詩ノ節	Alphabet	字 母
Quotation	引 用	Monosyllable	一 音 詞
(自十九葉至三十八葉)		Dissyllable	二 音 詞
		Trisyllable	三 音 詞
		Polysyllable	多 音 詞
		Vowels	母 字
		Consonants	子 字
		Diphthong	二重母字

Order of time	順序副詞	Perfect “	完結過去
Place in which	詞ノ通リ	Pluperfect “	大過去
Place to which	詞ノ通リ	First future “	第一未來
Place from which	詞ノ通リ	Second “ “	第二未來
Order of place	詞ノ通リ	Present	現在
Excess or abundance	過多或ハ許多ノ副詞	Preterit	過去
Equality	均同副詞	Imperfect participle	不完過去
Deficiency	少量副詞	Perfect “	完結過去
Quantity	分量副詞	Auxiliary verb	助動詞
Quality	性質副詞	Negation	打消
affirmation	決定副詞	Question	疑問
Negation	打消副詞	Perfect participle	完結分詞
Doubt	推量副詞	Preperfect “	大過去分詞
Mode	解說副詞	Imperfect “	不完結分詞
Cause	原因副詞	Adverbs of time	時刻副詞
Copulative Con.	添加接、	“ “ place	位置副詞
Disjunctive “	反對接、	“ “ degree	分量副詞
Corresponsive “	對接續、	“ “ manner	狀態副詞
Joy	歡喜	Time present	現然副詞
Sorrow	悲哀	Time past	既然副詞
Wonder	驚歎	Time to Come	未然副詞
Wishing or earnestness	希望或ハ熱望	Time relative	關係副詞
Pain	悲痛	Time absolute	無限副詞
		Time repeated	反復副詞

Interrogative “	疑問代名詞	Plural “	複數
Compound sentence	複文	Genders	性
Complex “	混文	Cases	格
Relative clause	關係長句	Masculine gender	男性
Dependent “	附屬長句	Feminin “	女性
Regular verb	正則動詞	Neuter “	無性
Irregular “	不規則動詞	Common “	中性
Redundant “	通性動詞	Nominative case	主格
Defective “	缺動詞	Possessive “	物主格
Active transitive verb	他動詞	Objective “	目的格
Active intransitive verb	自動詞	Declension	變方
Passive verb	受動詞	Common adjective	普通形容詞
Nuter “	通動詞	Proper “	固有形容詞
Moods	法	Numeral “	數形容詞
Tenses	時	Proninal “	代名形容詞
Persons	人稱	Participle “	分詞狀形容詞
Numbers	數	Compound “	複形容詞
Indicative mood	顯示法	Comparison	比較
Infinitive “	不定法	Positive degree	定級
Potential “	可成法	Comparative “	比較級
Subjunctive “	附屬法	Superative “	最上級
Imperative “	命令法	Personal pronoun	人代名詞
Present tense	現在	Relative “	關係代名詞
Imperfect “	不完過去		

Contempt	侮	慢
Aversion	賤	惡
Calling aloud	高	呼
Exultation	大	悅
Laughter	發	笑
Salutation	祝	賀
Calling to attention		注
Calling to Silence		意
Surprise	驚	止
Languor	衰	愕
Stopping	召	弱
		呼

附 錄 終



明治十九年一月廿三日版權免許
同 年十月 日出版發行

譯述人

出版人

同 同 同 同 同

定價金六拾錢

京都府士族

澤田重遠

大坂府下東區大手前之町
大學分枝寄宿舎寄留

大阪府平民

辻本秀五郎

三水佐助

同

前川善兵衛

同

柳原喜兵衛

同

岡島真七

同

敬野善兵衛

東京府平民

東京日本橋區通四丁目七番地

